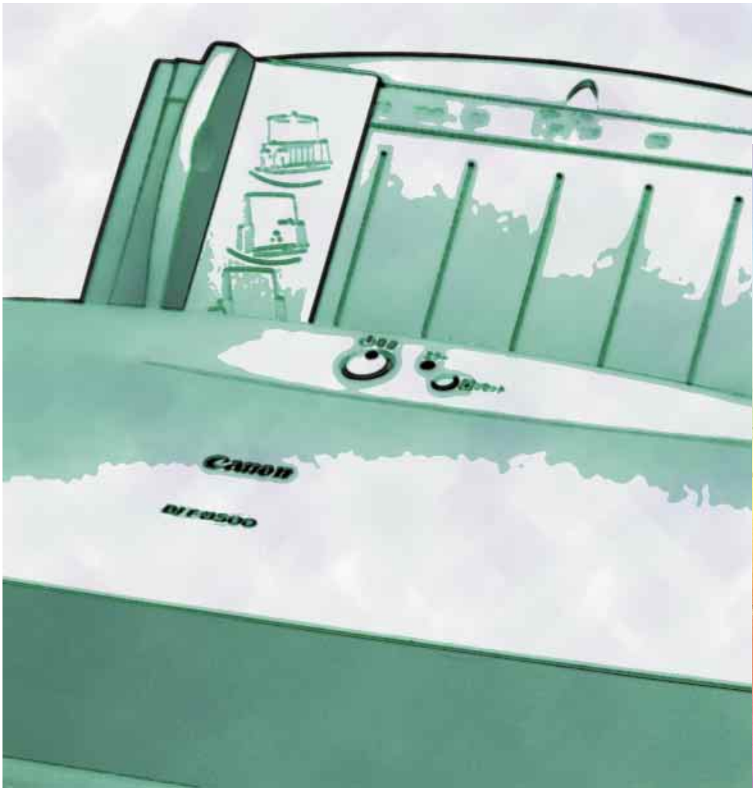
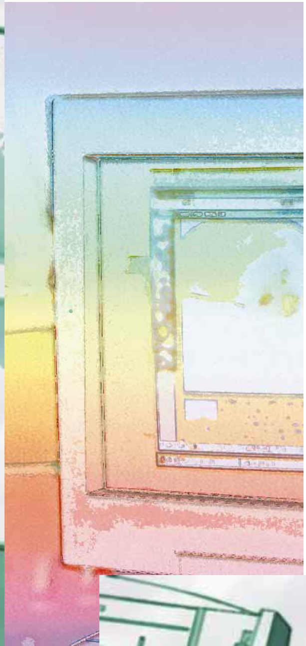
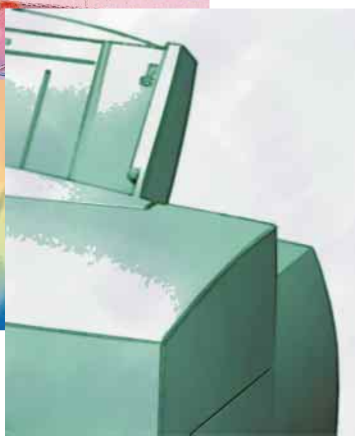
BUBBLE JET PRINTER

BJ F8500

Windows® プリンタドライバガイド



Windows®98／Windows®95やWindows®3.1で
印刷する方はお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J　QA7-0294-V01

お客様へのお願い

- 本書ではMicrosoft® Windows® 98をWindows 98、Microsoft® Windows® 95をWindows 95、Microsoft® Windows® 3.1をWindows 3.1と略して記載しているところがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

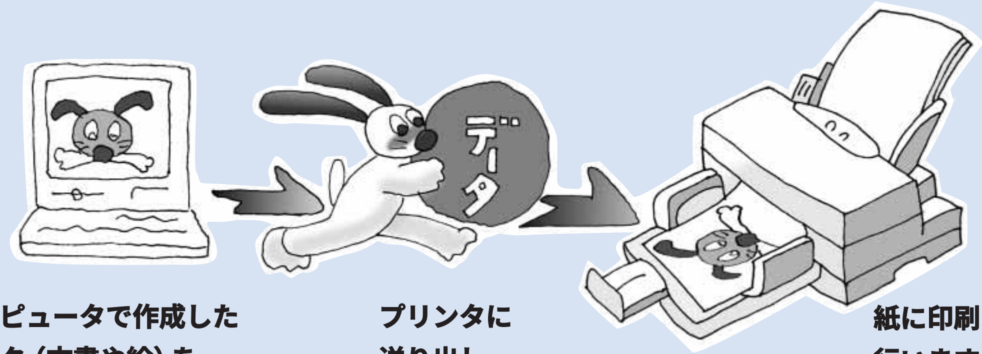
商標について

- Microsoft®、MS-DOS®、Windows®は、米国Microsoft社の米国、その他の国における登録商標です。
- PC-9800は、日本電気株式会社の商標です。
- Canon、BJCは、キヤノン株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。



本書はプリンタドライバ（Windows 対応）の説明書です

プリンタドライバとはこんなソフトウェアです。

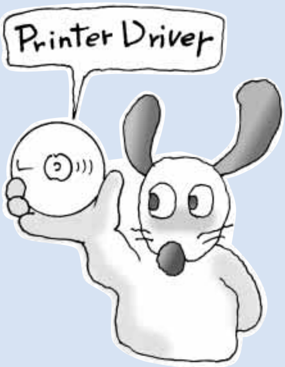


コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を・・・

プリンタに送り出し・・・

紙に印刷する作業を行います。

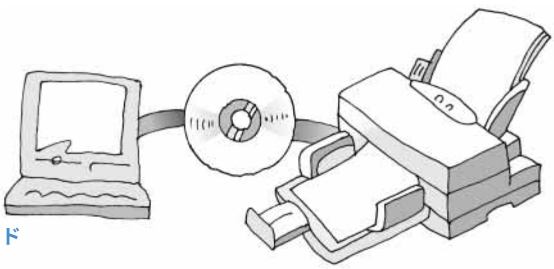
プリンタドライバは同梱のCD-ROMに入っています。





プリンタのセットアップが終わったら、プリンタドライバをインストールしてください。

インストールの方法は次の説明書に書いてあります。
Windows95、Windows98をお使いのかた→スタートガイド
Windows3.1をお使いのかた→本書　P.82



目　次



応用編

Windows 3.1編

付　録

本書の読みかた

まず、最初に確認してください

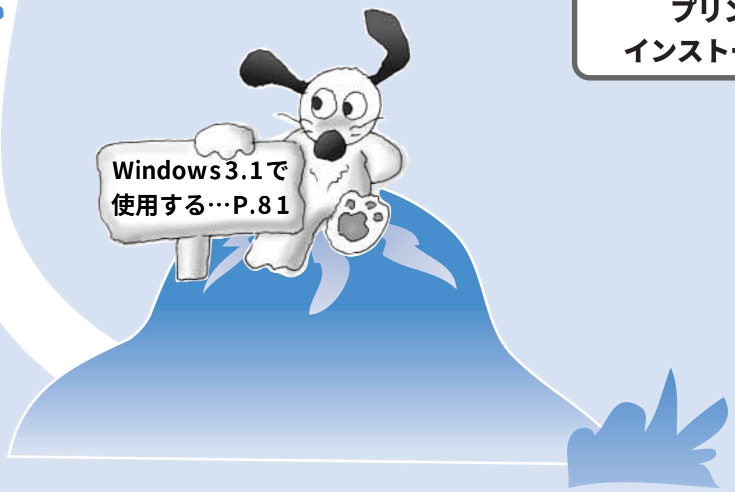
プリンタのセットアップは済んでいますか？

- いいえ → 「スタートガイド」でプリンタのセットアップを済ませてから、この本をお読みください。
- はい ↓

START!



Windows 3.1をお使いのかた



Windows 95、Windows 98をお使いのかた

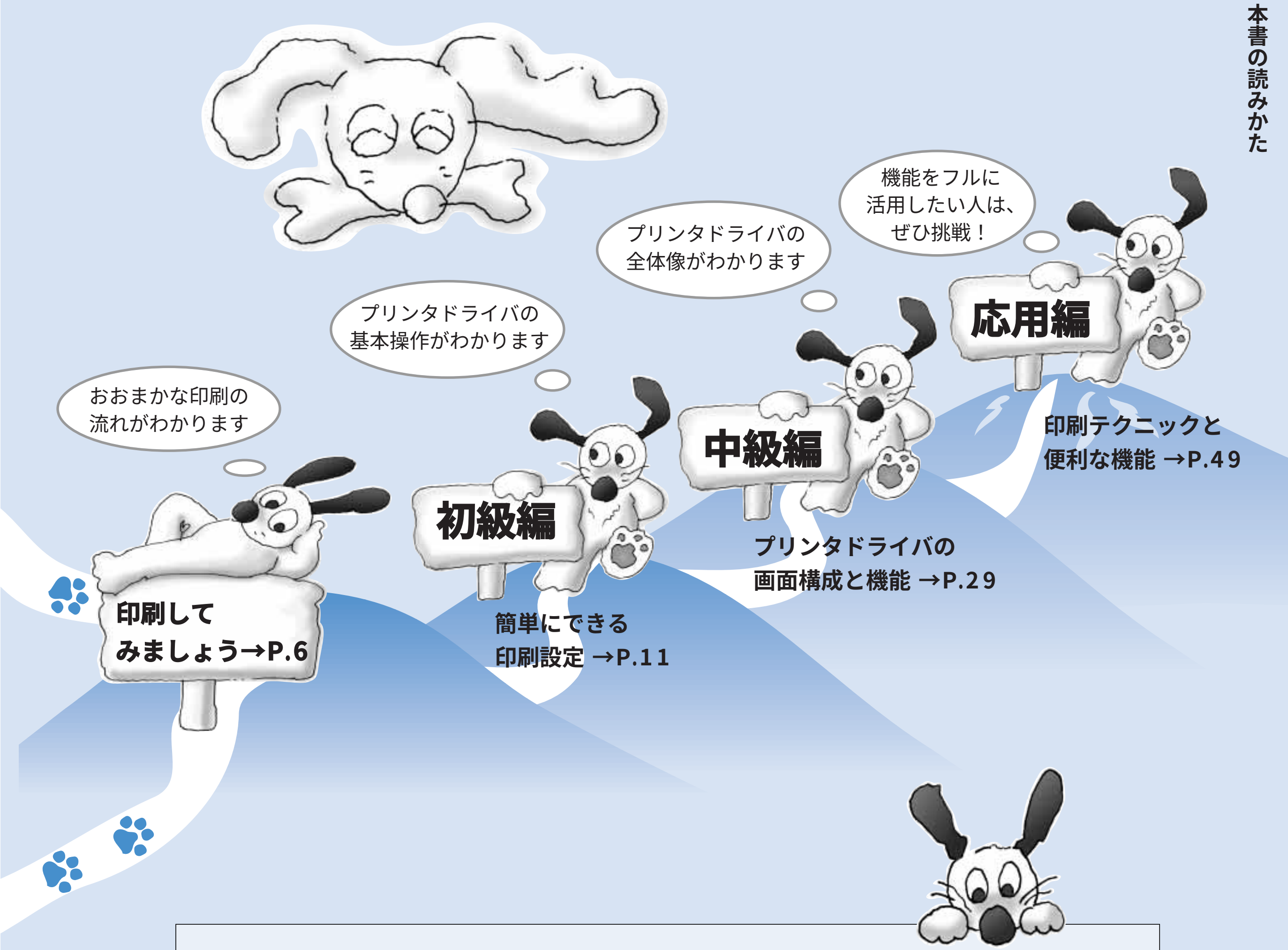
プリンタドライバはインストールしましたか？

- はい →
- いいえ ↓

「スタートガイド」を見てプリンタドライバをインストールしてください。

インストールの方法が知りたい人、**全員集合！**

- 本書では、画面の説明や操作手順は、おもにWindows 95で説明していますが、Windows 98で使用する場合も操作は同じです。
- Windows 3.1で使用する場合は、設定画面のデザインが違うため操作が異なるところがありますが、プリンタドライバの機能はほとんど同じです。操作方法については、プリンタドライバのヘルプを活用してください。



◆表記について

お願い ------操作上守らなくてはならない重要事項や禁止事項が書かれています。

STOP ------機能を使う上での制限事項が書かれています。

ヒント -----操作の参考になる事柄が書かれています。

→P.XX ------関連する事柄が書いてあります。指定ページを参照してください。



印刷してみましょう

アプリケーションソフトで作成した原稿をはじめて印刷するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから印刷します。

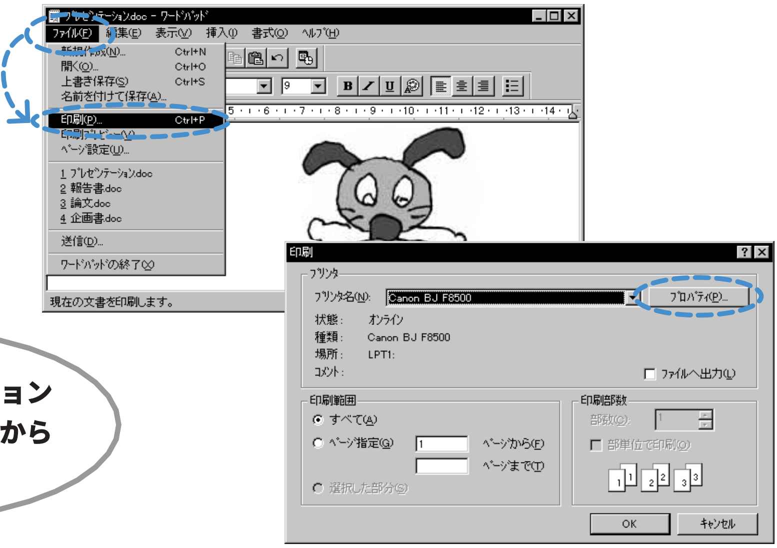
お願い アプリケーションソフトによって、設定画面の開きかたや印刷の実行手順は多少違います。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。

原稿が完成したら、さあ印刷！
でも、その前に印刷設定を確認しよう。

1 まず、プリンタドライバの設定画面を開きます

◆開きかたは2通りあります（→P.12）。一般的にはアプリケーションソフトの「ファイル」メニューで「印刷」を選び、印刷を実行する画面で プロパティ(P)... をクリックします。









2 印刷する原稿に適したアイコンを選びます

◆ [ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]の各アイコンには、原稿の種類や印刷の目的に適した、おすすめの印刷設定があらかじめ登録されています。
まず、アイコンを選んでから、[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)][用紙の種類(O)][給紙方法(B)]などを、お使いのものに合わせて選択します。

[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]の選択についてはP.14を参照してください。



選択したアイコンによって、[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]、[用紙の種類(O)]、[給紙方法(B)]の設定が変わります。

- **設定と異なるカラーセット（BJカートリッジの組み合わせ）を使用するとき**
  [BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]の▼をクリックして、一覧から選択します。→P.20
- **はがきや封筒、キヤノン製専用紙を使用するとき**
  [用紙の種類(O)]の▼をクリックして、一覧から目的の用紙を選択します。→P.21
- **設定と異なる給紙方法を使用するとき**
  [ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ詳細(E)...]をクリックして、[給紙方法(B)]の▼をクリックして、一覧から選択します。→P.22

用紙サイズについて

用紙サイズはアプリケーションソフトであらかじめ設定しておきます。
はじめて印刷する場合は[用紙]タブをクリックして、[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]の設定が、アプリケーションソフトで設定したサイズと同じになっていることを確認してください。もし、違っていれば▼をクリックして同じサイズを選択します。→P.23



設定を確認したら、
いよいよ印刷開始です。

3 印刷設定が終わったら、プリンタドライバの設定画面を閉じます

OK をクリックすると閉じます。



4 プリンタの電源が入っていること、用紙がセットされていることを確認して…

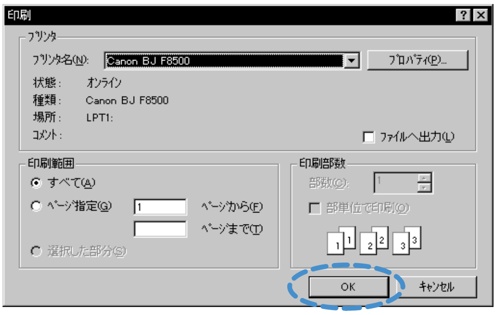
電源の入れかた、用紙のセットのしかたなどプリンタ本体の機能は「操作ガイド」を参照してください。

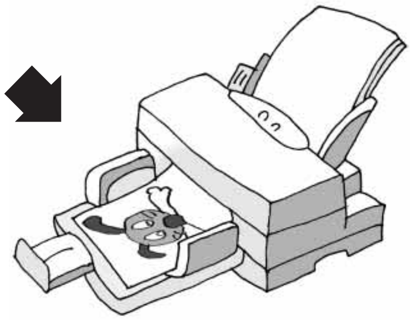


5 印刷を開始します



◆印刷の実行のしかたもアプリケーションソフトによって違いますが、一般的にはプリンタドライバの設定画面を終了して、戻った画面で OK をクリックすると開始します。





印刷中はこんな画面が表示されます

BJバックグラウンダ →P.24
現在印刷している文書の進行状況を表示します。また、実行中の印刷を中止したり、一時停止することもできます。



BJバックグラウンドモニタ →P.70
タスクバー上のボタンをクリックすると印刷待ちの文書や進行状況を見ることができます。

BJステータスモニタ →P.68
タスクバー上のボタンをクリックするとプリンタの状態が表示されます。電源が入っていない、用紙がセットされていないなどのトラブルが発生すると、自動的にメッセージと対処法を表示します。

初級編

簡単にできる印刷設定

プリンタドライバのインストールが終了したら、いつでも印刷を開始できます。ここでは印刷する前に最低限必要な印刷設定とプリンタドライバの基礎知識を説明します。



ステップ1

プリンタドライバの設定画面の開きかたを覚えましょう。

設定画面を開く→P.12

ステップ2



印刷する前に必ず確認してほしい項目です。

オートパレットで印刷設定を行う→P.16
BJカートリッジを変更する→P.20
用紙の種類を変更する→P.21
給紙方法を変更する→P.22
用紙サイズを変更する→P.23

ステップ3



困ったときのために、印刷を中止する方法と画面で機能の説明を見る方法を覚えましょう。

印刷を中止する→P.24
ヘルプの説明を見る→P.26



設定画面を開く

プリンタドライバの設定画面の開くには2通りの方法があります。

◆アプリケーションソフトから開く

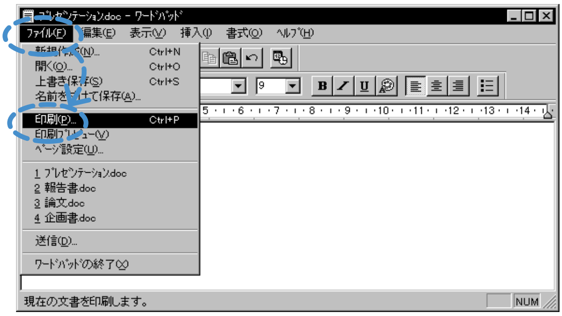
通常はこの方法で設定画面を開き、印刷設定を行います。

> **お願い**
> **操作のしかたはアプリケーションソフトによって違い、以下の操作より手順が多くなることがあります。お使いになっているアプリケーションソフトのマニュアルも併せて参照してください。**

1

アプリケーションソフトの印刷を実行するメニュー項目を選択します。

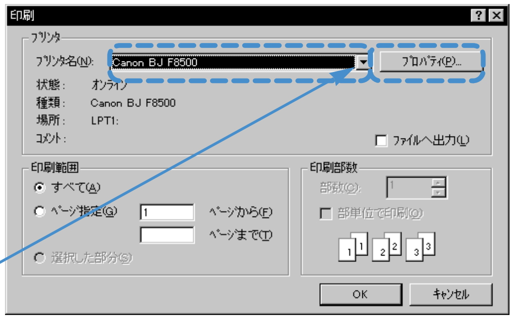
一般的には「ファイル」メニューの「印刷」、「プリンタの設定」などを選択すると、ダイアログボックスが開きます。



2

プリンタ名が「Canon BJ F8500」になっていることを確認して、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)...]をクリックします。

> **ヒント**
> **他のプリンタが選択されているときは [▼] をクリックして、一覧から選択します。**



設定画面が開きます。



注）プリンタドライバの設定画面のことを、「プリンタのプロパティ」と呼ぶこともあります。

◆単独で開く

アプリケーションソフトから開いたとき、稀に用紙サイズや印刷方向に関する設定項目がグレー表示になっていて変更できないことがあります。
そのときは改めてこの方法で設定画面を開き直し、印刷設定を行ってください。

1

「プリンタ」ウィンドウを開き、



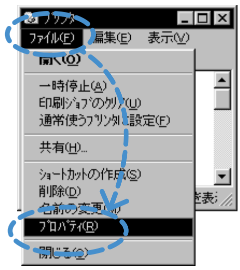
のアイコンをクリックします。

「プリンタ」ウィンドウを開く一般的な方法は、［スタート］をクリックし、［設定(S)］、［ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)］を選択します。



2

[ﾌｧｲﾙ(F)]メニューから[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]を選択します。



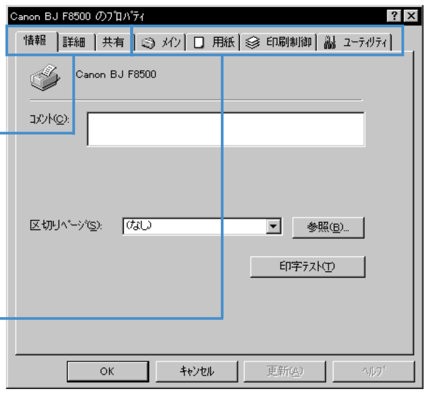
設定画面が開きます。

ヒント

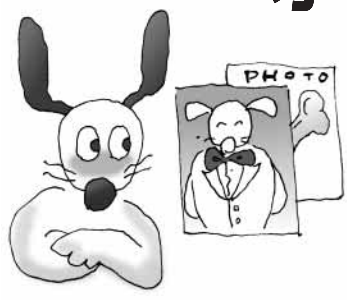
単独で開いたときは、［情報］、［詳細］、［共有］などのシートが追加されます。これらはWindows が自動的に追加するシートです。詳細はWindows の取扱説明書を参照してください。

ヒント

プリンタドライバの印刷設定に関するものは、［メイン］［用紙］［印刷制御］［ユーティリティ］の4つのシートです。



オートパレットで印刷設定を行う



オートパレットには印刷の目的や原稿の種類に適した、おすすめの印刷設定が登録されています。アイコンを選択すると、BJカートリッジの種類、用紙の種類、給紙方法、印刷の品質、色味などが自動的に設定されます。
必要に応じて個々の設定を変更したり、新しいオートパレットを登録することも可能です。
ここでは、便利なオートパレットの機能について説明します。

◆オートパレットの選択方法

1

設定画面を開き、[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]でアイコンを選択します。

普通紙に文字中心の原稿を印刷する場合は、[文書]のままできれいに印刷できます。
絵や写真を印刷するとき、試し刷りを行うときは次ページを参照して、適切なアイコンを選択してください。

ヒント

◀ ▶ をクリックすると、隠れているアイコンを表示させることができます。



ここには現在の設定が表示されます。

◆オートパレットの設定内容を見るには

次のいずれかの操作を行います。

① [ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で目的のアイコンをダブルクリック

② [ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で目的のアイコンを選択し、[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ詳細(E)...]をクリック

選択したオートパレットのプロパティが開きます。クオリティシート（→P.40）と色設定シート（→P.42）の設定内容が、オートパレットに登録されています。必要に応じて個々の設定を変更することも可能です。
変更した設定を新しいオートパレットとして登録するときはP.16を参照してください。



◆オートパレットの選びかた

●普通紙に印刷するとき

次の３つのアイコンから目的に合ったものを選択します。BJカートリッジは標準カラーセットを使用する設定になっています。


文書
…ワープロ文書など、文字中心の原稿を標準的な品質で印刷します。


DTP
…写真やグラフィックスを自動認識して最適な設定で印刷します。文章、表、グラフ、写真などさまざまな要素が混在した文書の印刷に適しています。


ﾄﾞﾗﾌﾄ
…品質よりも高速性を重視します。試し刷りに向いています。

●画像を高品質で印刷するとき（標準カラーセットの場合）

次の２つのアイコンから目的に合ったものを選択します。用紙の種類はいずれも「高品位専用紙」を使用する設定になっています。

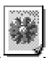
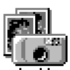

ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ
…グラフや色の境界がはっきりしたCG（コンピュータグラフィックス）などに向いています。


写真
…写真やグラデーションを多用したグラフィックスに向いています。

●画像を高品質で印刷するとき（フォトカラーセットの場合）

次の２つのアイコンから目的に合ったものを選択します。用紙の種類はいずれも「高品位専用紙」を使用する設定になっています。


ｽｰﾊﾟｰﾌｫﾄ
…写真やグラデーションを多用したグラフィックスを最高品質で表現します。


ﾃﾞｼﾞｶﾒ
…デジタルカメラで撮影した画像の印刷に向いています。
色調が悪い画像データもフォトデータ補正（→P.41）によってきれいに印刷できます。

注) 各オートパレットの詳細設定については付録（→P.97）をご覧ください。

STOP

選択したオートパレットの設定と異なるカラーセットがプリンタに取り付けられていると、印刷時に警告のメッセージが表示されて、印刷を続行することができません。オートパレットの設定と異なるカラーセットで印刷したいときは、P.20を参照してあらかじめ[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]設定を変更しておいてください。

◆新しいオートパレットの登録方法

選択したオートパレットの設定をひとつでも変更すると、現在の設定を示すアイコンが「～から変更」という形に変わります。

このままでも印刷は実行できますが、変更した設定を新しいオートパレットとして登録しておくと、他の原稿で印刷するときにワンタッチで選択できるようになります。
登録するには次の手順を行ってください。



1

「～から変更」のアイコンを右クリックし、[名前をつけて保存(A)...]を選択します。

設定登録シートが表示されます。

ヒント

ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ詳細(E)... をクリックして、[設定登録]タブをクリックする方法もあります。



2

[タイトル(T)]の入力欄をクリックして、オートパレットの名前を入力します。

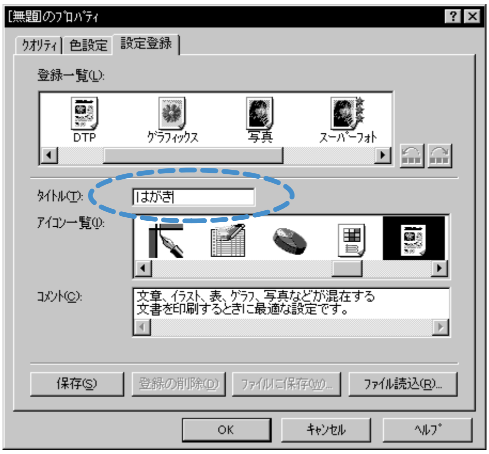
ここでは例として「はがき」と入力しています。
必要に応じて[ｱｲｺﾝ一覧(I)]（→P.45）、[ｺﾒﾝﾄ(C)]（→P.45）の内容は変更してください。

ヒント

[ﾀｲﾄﾙ(T)]には半角で８文字、全角で4文字以内で入力してください。

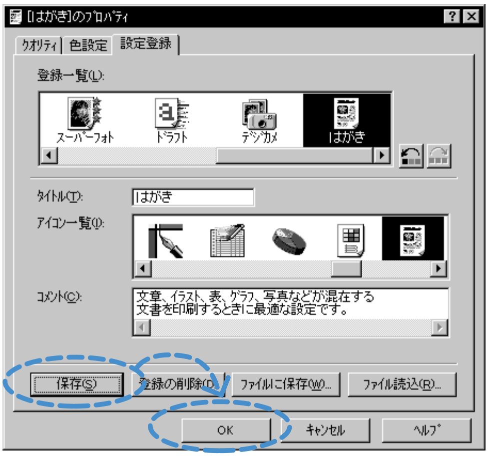
STOP

既存のオートパレットが使用している「文書」などのタイトルと、「ﾜｰﾌﾟﾛ」「表計算」「絵」「写真ﾌｨﾙﾑ」「OHP」というタイトルは使えません。



3 **設定した内容を確認して、[保存(S)]をクリックし、[OK]をクリックします。**

メインシートに戻ります。



新しいオートパレットが登録され、現在の設定となります。



登録内容を変更したいとき・・・

登録したオートパレットのアイコン、コメントはあとから変更できます。

- **タイトルを変更したい場合は、まず[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で変更したいアイコンをクリックして選択状態にします。同じアイコンを右クリックし、[名前の変更(M)]を選択すると、名前を入力できるようになります。**
- **アイコンとコメントを変更したい場合は、まず[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で目的のアイコンをダブルクリックします。設定登録シートの[ｱｲｺﾝ一覧（I）]、[ｺﾒﾝﾄ(C)] を変更します。**

STOP **あらかじめ登録されている[文書]などのオートパレットは、タイトル、アイコン、コメントを変更することはできません。**

◆アイコンの表示順序を変える

オートパレットの数が増えてくると、だんだん選択しづらくなってきます。そんなときはアイコンの表示順序を変えて、よく使うものを前の方に出すと便利です。

1

設定画面を開き、オートパレット詳細(E)... をクリックします。



2

[設定登録]タブをクリックし、[登録一覧(L)]で表示位置を変えたいアイコンをクリックします。

ここでは例として「はがき」というアイコンを選択しています。



3

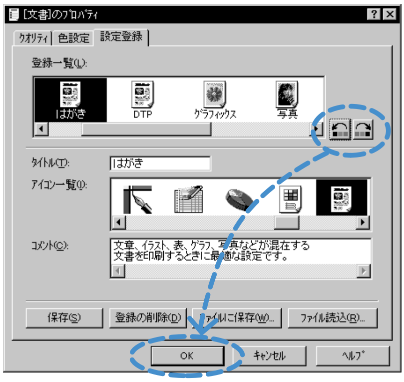
アイコン移動ボタンをクリックして、目的の位置に移動したら OK をクリックします。

ヒント

をクリックするとひとつ前に移動します。

をクリックするとひとつ後ろに移動します。

メインシートの[オートパレット(M)]の表示順序が変わります。



ヒント

- **移動はキャンセルできません。元の位置に戻したいときは、もう1度同じ手順で移動してください。**
- **アイコンの表示順序は設定登録シートの[登録一覧(L)]で直接アイコンをドラッグして変更することもできます。**

◆不要なオートパレットを削除する

使わなくなったオートパレットは以下の手順で削除して整理してください。

1

設定画面を開き、[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で削除したいアイコンをクリックして選択状態にします。

ここでは例として「はがき」というアイコンを選択しています。



2

選択したアイコンを右クリックし、[削除(D)]を選択します。

STOP

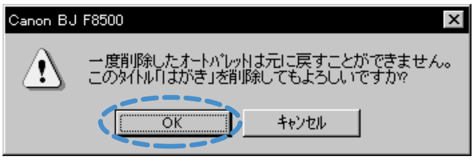
「文書」など既存のオートパレットは削除できません。右クリックしても[削除(D)]はグレー表示になって選択できません。



3

右のようなメッセージが表示されたら、選択しているアイコンを確認して、[OK]をクリックします。

選択したオートパレットは削除されます。



ヒント

間違ったオートパレットを選択した場合は[キャンセル]をクリックして、もう一度はじめからやり直してください。



BJカートリッジを変更する

オートパレットで自動的に設定される[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]の設定と、実際にプリンタにセットされているものが合わないときは、以下の手順で変更します。

1

設定画面を開き、[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]の▼をクリックして、使用するBJカートリッジの組み合わせを選択します。



ヒント

フォト/カラー…フォトカラーセットを取り付けているとき
ブラック/カラー…標準カラーセットを取り付けているとき

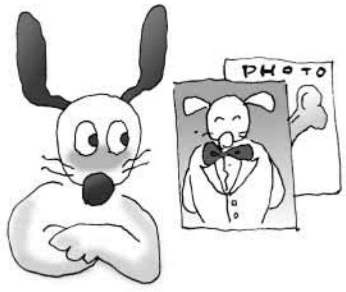
2

設定が終了したら OK をクリックします。



ヒント

カラーで作成した原稿をモノクロで印刷したいときは、[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ印刷(G)]をクリックしてチェックマークをつけてください。



用紙の種類を変更する

オートパレットで自動的に設定される用紙の種類と実際に使用する用紙が異なる場合は、[用紙の種類(O)]の設定を、以下の手順で変更します。

1 **設定画面を開き、[用紙の種類(O)]の ▼ をクリックして、一覧から目的の用紙を選択します。**

ここでは例として[はがき]を選択しています。



2 **選択した用紙によっては、右のようなメッセージが表示されることがあります。 OK をクリックすると自動的に最適な給紙方法に変更されます。**



3 **設定が終了したら、 OK をクリックします。**



ヒント

給紙方法が変更された場合は、その給紙口に用紙がセットされているかどうか確認してから印刷を実行してください。

お願い

用紙の種類によって取り扱いかたや、セット方法に違いがあります。詳細は「操作ガイド」を参照してください。

プリンタにはプリンタドライバで設定した用紙をセットしてください。実際にセットした用紙が異なると印刷結果がよくないことがあります。

給紙方法を変更する



オートパレットで自動的に設定される給紙方法と、実際に用紙をセットしている給紙口が異なる場合は、[給紙方法(B)]の設定を、以下の手順で変更します。
ただし、用紙の種類やサイズによっては使用できない給紙方法もあります。詳細は「操作ガイド」を参照してください。

1

設定画面を開き、[オートパレット詳細(E)...]をクリックします。



2

[給紙方法(B)]の[▼]をクリックし、目的の給紙方法を選択し、[OK]をクリックします。

メインシートに戻ります。

ヒント

ｵｰﾄｼｰﾄﾌｨｰﾀﾞ…シートフィーダにセット
上段ｶｾｯﾄ…上段カセットにセット
下段ｶｾｯﾄ…下段カセットにセット
手差し…手差し給紙口にセット
自動連続給紙…P.40参照



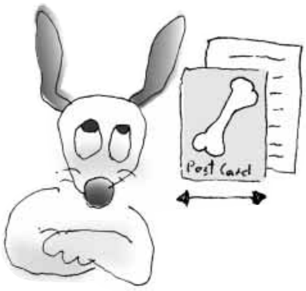
3

設定が終了したら、[OK]をクリックします。

ヒント

変更した給紙方法は右下に表示されます。





用紙サイズを変更する

用紙サイズの設定は通常はアプリケーションソフトで行います。
はじめて印刷するときは、以下の手順でプリンタドライバの設定が、アプリケーションソフトと同じになっていることを確認してください。
もし、違っていた場合は、[用紙サイズ(Y)]で正しいサイズを選択します。

1

設定画面を開き、[用紙]タブをクリックします。



2

[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]の設定がアプリケーションソフトと同じになっていない場合は、▼をクリックして、一覧から目的のサイズを選択します。

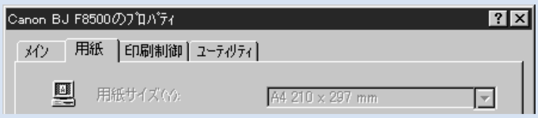
ここでは例として「はがき」を選択しています。設定が終了したら OK をクリックします。



お願い

用紙のセットのしかたは「操作ガイド」を参照してください。プリンタにはプリンタドライバで選択したサイズの用紙をセットしてください。実際にセットした用紙のサイズが異なると正しく印刷されないことがあります。

項目がグレー表示になって設定できないときは・・・



ｷｬﾝｾﾙ をクリックしてプリンタのプロパティをいったん閉じます。P.13の単独で開く方法でプリンタのプロパティを開き直して設定を変更してください。



印刷を中止する

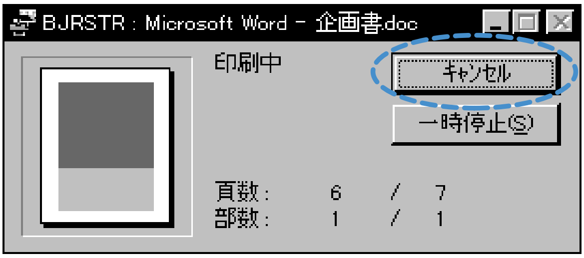
BJバックグラウンダが表示されている間は、印刷を中止したり、一時停止することができます。

ヒント
印刷を実行した文書がたくさんあるときは、BJバックグラウンドモニタで印刷を中止してください。印刷中の文書だけでなく、印刷待ちの文書もキャンセルできます。→P.70
また､BJステータスモニタでも実行中の印刷を中止できます。→P.68

◆印刷を完全に中止したいとき

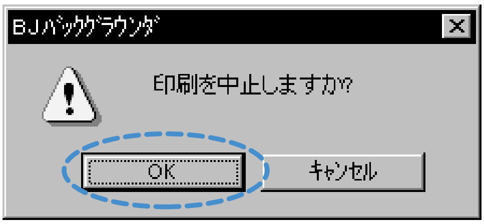
1 **BJバックグラウンダの［キャンセル］をクリックします。**

確認のメッセージが表示されます。



2 **［OK］をクリックします。**

プリンタはそれ以後の印刷を完全に中止します。

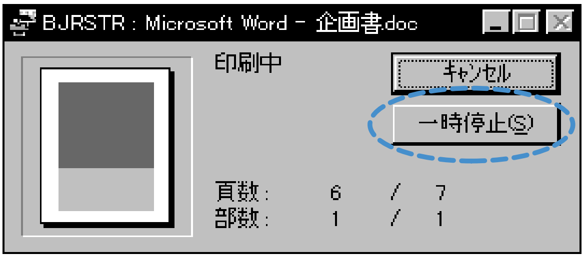


◆プリンタを一時停止したいとき

1

BJバックグラウンダの 一時停止(S) をクリックします。

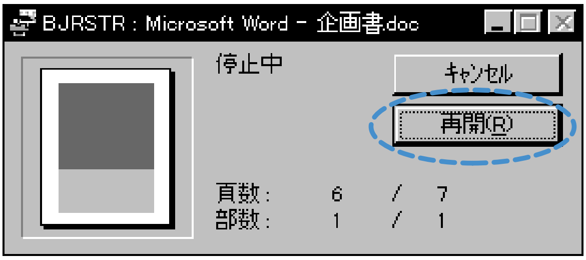
プリンタは処理を停止します。



2

印刷を再開するときは、再開(R) をクリックします。

プリンタは続きを印刷します。





ヘルプの説明を見る

操作のしかたがわからなくなったり、設定項目に関する説明が知りたいときは、画面上でヘルプを見ることができます。

◆設定項目の説明を見るとき



プリンタドライバの設定項目の意味、役割を知りたいときは、次の方法でヘルプを表示させます。

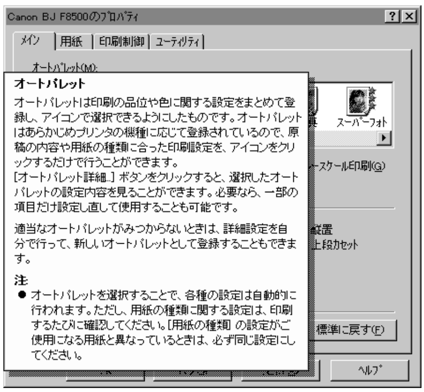
1 **[?] をクリックするとポインタの形が変わります。説明を見たい項目を直接クリックします。**



ヒント

右の例は[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]の説明を見る場合です。

説明の画面が表示されます。



ヒント

説明を読み終わったら、画面の好きな場所をクリックします。説明の画面が閉じます。

◆操作の説明を見るとき



設定を変えるために具体的な操作手順を知りたいときは、次の方法でヘルプを表示させます。

1

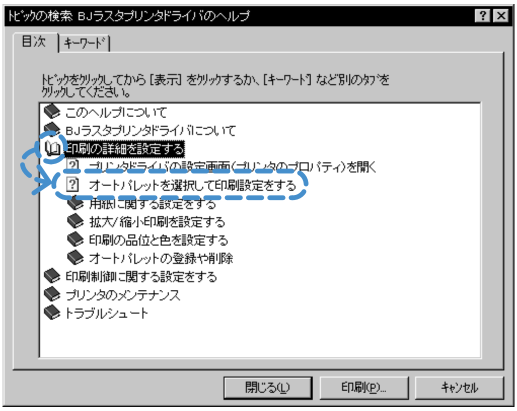
プリンタのプロパティの ヘルプ をクリックします。

ヘルプの目次画面が表示されます。

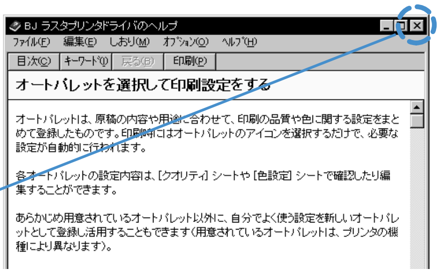


2

説明を見たい大項目（ ）、小項目（ ? ）を順にダブルクリックします。



説明が表示されます。



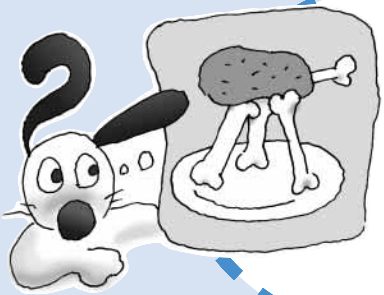
ヒント

説明を読み終わったら、 をクリックします。説明の画面が閉じます。

中級編

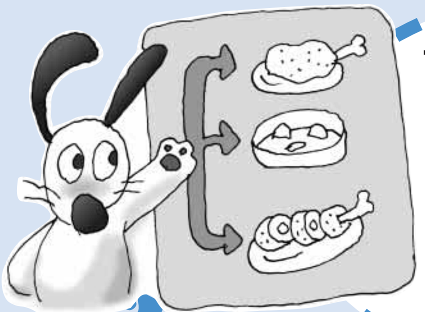
プリンタドライバの画面構成と機能

プリンタドライバにはたくさんの機能があります。
ここではプリンタのプロパティの構造と各設定項目の意味を簡単に説明します。
一部の項目はプリンタドライバのヘルプに詳しい使いかたが書いてあります。
併せてご覧ください。



プリンタドライバの全体の構造

設定画面の構成→P.30



プリンタドライバのおもな機能

メインシート→P.32
用紙シート→P.34
印刷制御シート→P.36
ユーティリティシート→P.38
クオリティシート→P.40
色設定シート→P.42
設定登録シート→P.44



オリジナルのスタンプを作る機能

スタンプ設定のプロパティ→P.46

設定画面の構成

プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）はタブやボタンをクリックすることで、表示を切替えることができます。それぞれの画面の設定項目の説明は指定ページを参照してください。

設定画面を開く→P.12

用紙シート→P.34

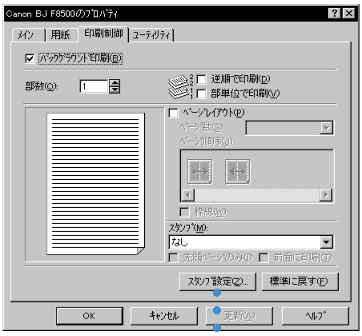


[用紙]タブをクリック

メインシート→P.32



印刷制御シート→P.36



[印刷制御]タブをクリック

スタンプ設定のプロパティ（P.46）へ

ユーティリティシート→P.38



[ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]タブをクリック

特殊設定ダイアログボックス（P.39）へ

［ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ詳細(E)...］をクリックすると、オートパレットのプロパティが表示されます。

ヒント

[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]のアイコンをダブルクリックしても、同様にオートパレットのプロパティが開きます。

オートパレットのプロパティ

選択しているオートパレットの詳細な設定内容を表示します。必要に応じて個々の設定を変更できます。

注：オートパレットのプロパティのタイトルバーにはメインシートで選択しているオートパレットの名前が表示されます。ここでは [文書] のプロパティとなっています。

クオリティシート→P.40



[色設定]タブをクリック

色設定シート→P.42



[ｸｵﾘﾃｨ]タブをクリック

[設定登録]タブをクリック

設定登録シート→P.44

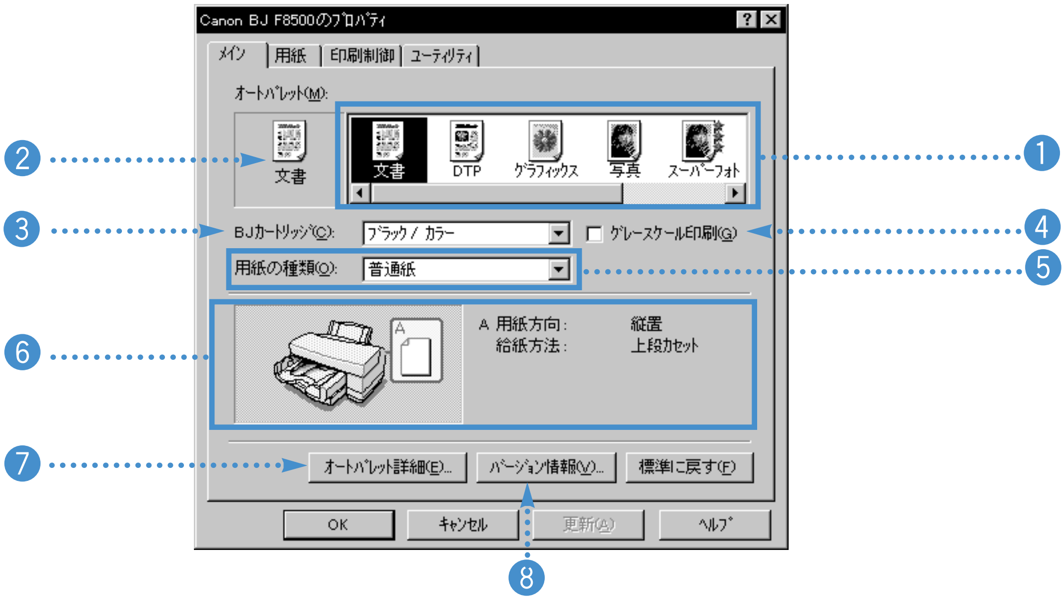


◆ボタンの説明

- OK ……設定した内容を有効にして、設定画面を閉じます。
- ｷｬﾝｾﾙ ……設定した内容を無効にして、設定画面を閉じます。
- 更新(A) ……プロパティを開いたまま、変更内容を保存します。
- ﾍﾙﾌﾟ ……プリンタドライバに関する説明を表示します。
- ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(V)... …プリンタドライバのバージョンを表示します。
- 標準に戻す(F) ….各シートの設定内容を標準に戻します。→P.96

メインシート

[ﾒｲﾝ]タブをクリックすると表示されます。



◆設定項目の説明

① [ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]

原稿の種類や用途に合わせておすすめの印刷設定がアイコンに登録されています。一覧から目的のアイコンを選択すると、印刷の品質、用紙の種類、給紙方法、色味などが自動的に設定されます。

操作→オートパレットで印刷設定を行うP.14
各オートパレットの設定内容は→付録P.97

② 現在の設定

[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で選択したアイコンが表示されます。



選択したオートパレットの設定をひとつでも変更すると、以下のように元になったアイコンに「から変更」という文字を付加して知らせます。
このままの状態でも印刷できますが、新しいオートパレットとして登録することも可能です。

操作→新しいオートパレットの登録方法P.16



また、現在の設定に表示されていたオートパレットを削除した場合は、以下のように「情報なし」と表示されます。この場合は、改めて[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]を選択し直してください。

3 **[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]**

オートパレットの設定と異なるBJカートリッジの組み合わせを使用するときは、▼をクリックして一覧から選択します。

ﾌﾞﾗｯｸ/ｶﾗｰ→標準カラーセットを使用するとき

ﾌｫﾄ/ｶﾗｰ　→フォトカラーセットを使用するとき

操作→BJカートリッジを変更するP.20

4 **[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ印刷(G)]**

チェックボックスをクリックしてどちらかを選択します。

☑ …カラーで作成した原稿をモノクロで印刷する

☐ …カラーで作成した原稿をカラーで印刷する

5 **[用紙の種類(O)]**

オートパレットの設定と異なる用紙の種類を使用するときは、▼をクリックして一覧から選択します。

操作→用紙の種類を変更するP.21
各用紙の違いや取扱い方法については→操作ガイド

6 **操作案内図**

使用する給紙口と用紙のセットのしかたを図で指示します。

[A用紙方向]は[用紙サイズ(Y)]の設定によって変わります。「A4」のようにサイズのみを選択している場合は「縦置き」、「A5横」のようにサイズに「横」が付加されているものを選択した場合は、「横置き」となります。

封筒（洋形4号、洋形6号）を選択した場合は「横置き」となります。また、給紙方法はクオリティシートにある[給紙方法(B)]で変更できます。

操作→給紙方法を変更するP.22

7 **[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ詳細(E)...]**

クリックすると、選択したオートパレットの詳細な設定（オートパレットのプロパティ）を表示します。

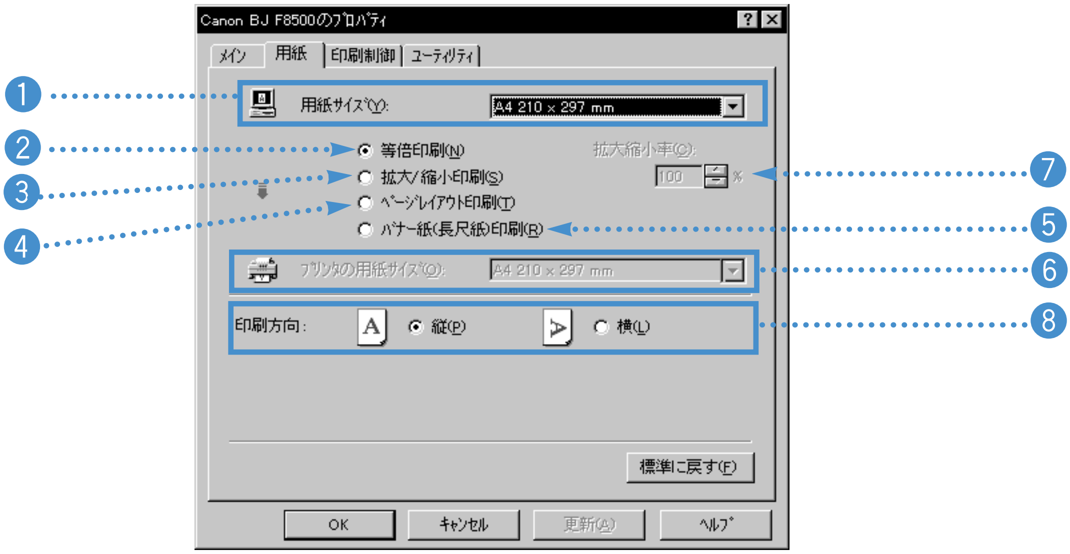
参考→クオリティシート P.40
色設定シート　P.42
設定登録シート P.44

8 **[ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(V)...]**

プリンタドライバのバージョンを表示します。

用紙シート

[用紙]タブをクリックすると表示されます。



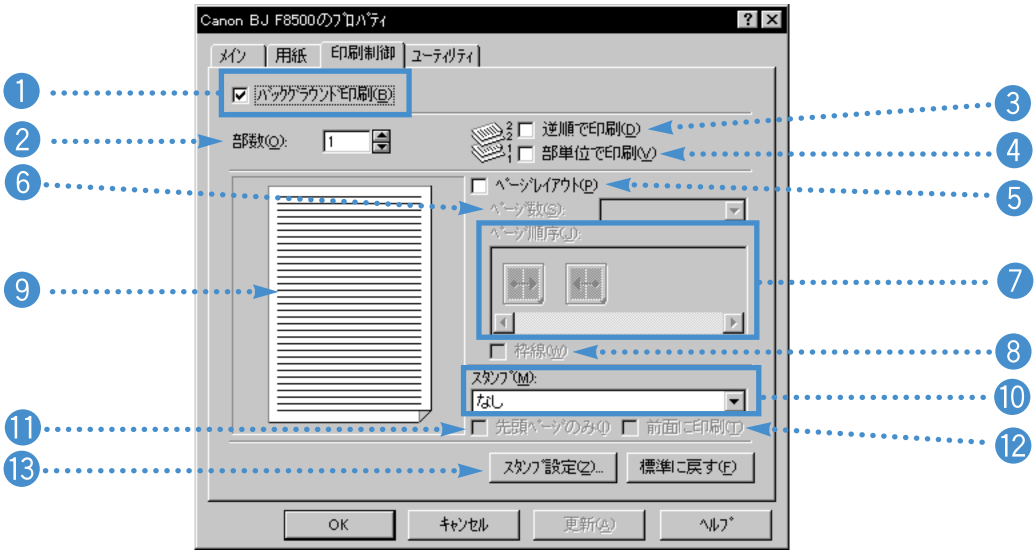
◆設定項目の説明

❶ [用紙ｻｲｽﾞ(Y)]	通常、用紙サイズはアプリケーションソフトで設定しますが、アプリケーションソフトと同じサイズになっていないときや、用紙サイズの設定ができないアプリケーションソフトを使用している場合は、▼をクリックして一覧から選択します。 操作→用紙サイズを変更するP.23
❷ [等倍印刷(N)]	原稿を拡大/縮小せず、通常のサイズで印刷を行います。拡大/縮小印刷、ページレイアウト印刷、バナー紙（長尺紙）印刷を行った後、元に戻すときはラジオボタンをクリックして◉（オン）にしてください。
❸ [拡大/縮小印刷(S)]	原稿を拡大/縮小して印刷したいときは、ラジオボタンをクリックして◉（オン）にしてください。 操作→原稿を拡大、縮小して印刷するP.58
❹ [ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ印刷(T)]	原稿の2ページあるいは4ページ分を1枚の用紙に印刷します。ページレイアウト印刷を行いたいときは、ラジオボタンをクリックして◉（オン）にしてください。 操作→1枚の用紙に複数ページを印刷するP.60

❺ [ﾊﾞﾅｰ紙(長尺紙)印刷(R)]	バナー紙（長尺紙）に印刷するときは、ラジオボタンをクリックしてオン（ ）にしてください。 バナー紙（長尺紙）印刷については→操作ガイド
❻ [ﾌﾟﾘﾝﾀの用紙ｻｲｽﾞ(O)]	拡大/縮小印刷、ページレイアウト印刷を行うとき、▼をクリックして、実際にプリンタにセットする用紙サイズを選択できます。[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]と異なるサイズすると、原稿を自動的に拡大/縮小して印刷します。 操作→原稿を拡大、縮小して印刷するP.58
❼ [拡大/縮小率(C)]	拡大/縮小印刷を選択しているときに、その倍率（%）を指定します。 10～400%の間で指定できます。 操作→原稿を拡大、縮小して印刷するP.58
❽ [印刷方向]	ラジオボタンをクリックしてどちらかを選択します。 縦(P)…通常はこちらが選択されています。 横(L)…原稿を90°回転させて印刷します。 操作→原稿を90°回転させて印刷する P.56

印刷制御シート

[印刷制御]タブをクリックすると表示されます。



◆設定項目の説明

① [ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ印刷(B)]

アプリケーションソフトを使いながら印刷することをバックグラウンド印刷といいます。通常はバックグラウンド印刷を行う設定になっているため、[印刷制御]シートのさまざまな機能を使うことができます。
バックグラウンド印刷のオン、オフはチェックボックスをクリックして選択できます。

☑…バックグラウンド印刷をする（オン）
☐…バックグラウンド印刷をしない（オフ）

バックグラウンド印刷をしない設定にすると以下の機能はグレー表示になって設定できなくなります。
[部数(O)]、[逆順で印刷(D)]、[部単位で印刷(V)]、[ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ(P)]、[ﾍﾟｰｼﾞ数(S)]、[ﾍﾟｰｼﾞ順序(J)]、[枠線(W)]、[ｽﾀﾝﾌﾟ(M)]、[先頭ページのみ(I)]、[前面に印刷(T)]、[ｽﾀﾝﾌﾟ設定(Z)]

② [部数(O)]

印刷する部数を1～999部の範囲で選択します。

操作→同じ文書を複数部印刷する P.62

③ [逆順で印刷(D)]

印刷するページ順序を設定します。チェックボックスをクリックして、どちらかを選択します。

☑…最終ページから印刷する
☐…先頭ページから印刷する

操作→同じ文書を複数部印刷する P.62

④ [部単位で印刷(V)]

複数部印刷するときの印刷順序を設定します。チェックボックスをクリックして、どちらかを選択します。

☑…１部ずつ印刷する
☐…各ページを部数分印刷する

操作→同じ文書を複数部印刷する P.62

⑤ [ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ (P)]

1枚の用紙に2ページ分または4ページ分の原稿を印刷することができます。チェックボックスをクリックして、どちらかを選択します。

☑…ページレイアウト印刷する
☐…ページレイアウト印刷しない

操作→1枚の用紙に複数ページを印刷する P.60

> ページレイアウト印刷をしない設定にしている場合は、[ﾍﾟｰｼﾞ数(S)]、[ﾍﾟｰｼﾞ順序]、[枠線(W)]はグレー表示になって設定できません。

---

⑥ [ﾍﾟｰｼﾞ数 (S)]

ページレイアウト印刷を行うとき、1枚の用紙に何ページ分の原稿を印刷するかを選択します。

操作→1枚の用紙に複数ページを印刷するP.60

---

⑦ [ﾍﾟｰｼﾞ順序 (J)]

ページレイアウト印刷をするとき、ページの配置のしかたを選択します。

操作→1枚の用紙に複数ページを印刷する P.60

---

⑧ [枠線 (W)]

ページレイアウト印刷をするとき、ページの周りに枠線を入れるかどうかを選択します。

☑…枠線をつける
☐…枠線をつけない

操作→1枚の用紙に複数ページを印刷する P.60

---

⑨ プレビュー画面

1枚の用紙にページがどのように配置されるかを表示します。また、スタンプを選択しているときは、スタンプの表示位置や大きさなどを確認することもできます。

---

⑩ [ｽﾀﾝﾌﾟ (M)]

あらかじめ登録されているスタンプを印刷します。▼をクリックして目的のスタンプを選択します。スタンプを印刷したくないときは「なし」を選択します。この場合は、[先頭ﾍﾟｰｼﾞのみ(I)]と[前面に印刷(T)]はグレー表示になって設定できなくなります。

操作→スタンプを印刷するP.64

---

⑪ [先頭ﾍﾟｰｼﾞのみ(I)]

チェックボックスをクリックして、スタンプをどのページに印刷するかを選択します。

☑…先頭のページにのみスタンプを印刷する
☐…全ページにスタンプを印刷する

操作→スタンプを印刷するP.64

---

⑫ [前面に印刷(T)]

チェックボックスをクリックして、スタンプを原稿データの上に重ねて印刷するか、原稿データの下に印刷するかを選択します。

☑…印刷データの上に印刷する
☐…印刷データの下に印刷する

操作→スタンプを印刷するP.64

---

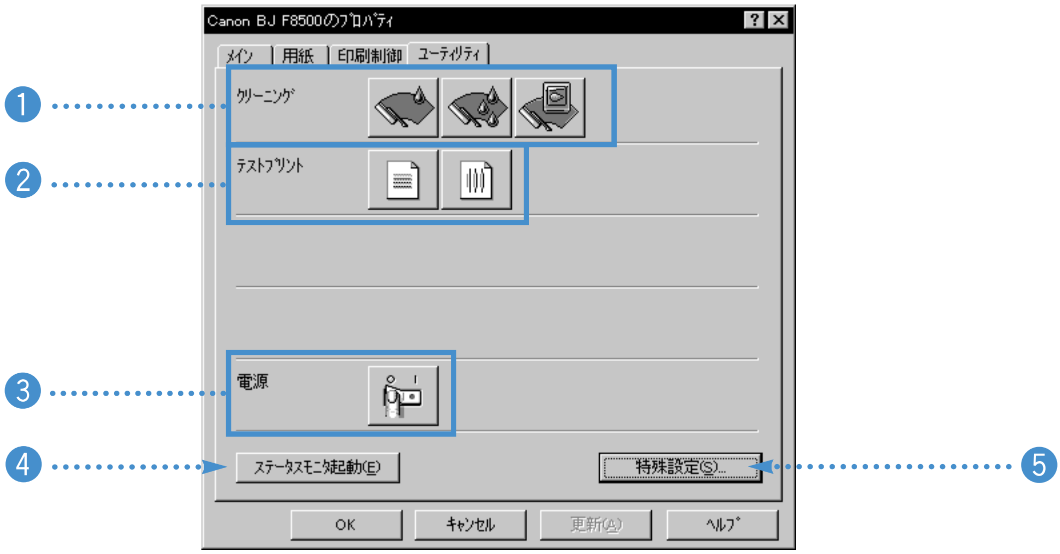
⑬ [ｽﾀﾝﾌﾟ設定(Z)...]

選択しているスタンプの設定内容（スタンプ設定のプロパティ）を表示します。スタンプ設定のプロパティでは、新しいスタンプを登録することもできます。

操作→オリジナルのスタンプを作成するP.65
参考→スタンプ設定のプロパティP.46

ユーティリティシート

[ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]タブをクリックすると表示されます。



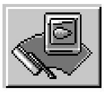
◆設定項目の説明

❶[ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

プリントヘッドのノズルの目詰まりを取るクリーニングを実行します。必要に応じていずれかのアイコンをクリックします。


…クリーニングを行う

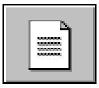

…ヘッドリフレッシングを行う

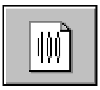

…インクタンク別クリーニングを行う

操作→プリントヘッドのクリーニングを行うP.76

❷[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]

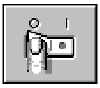
テストプリントを実行します。必要に応じてどちらかのアイコンをクリックします。


…ノズルチェックパターンを印刷


…ヘッド位置調整パターンを印刷

操作→テストプリントを行うP.74
詳細な手順は→スタートガイド

③[電源]



プリンタの電源を切るとき、アイコンをクリックします。

④ [ステータスモニタ起動(E)]

BJステータスモニタ（→P.68）を起動します。

⑤ [特殊設定(S)...]

特殊設定ダイアログボックスを表示します。
ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



⑥[プリンタをECPモード
にする(M)]

プリンタをECPモードで使用するかどうかを選択します。使用するコンピュータによってはECPモードにするとより高速に印刷できるようになります。

操作→ECPモードで使用するP.80

☑ ...プリンタをECPモードで使用する

☐ …プリンタを通常のモードで使用する

どちらかに変更したら [送信] をクリックします。

⑦[ページ間休止(P)]

高濃度の印刷を行ったあと、次のページの印刷開始までに休止するかどうか選択します。
インクを大量に使う原稿を連続して印刷すると、インクが完全に乾かないうちに次の用紙が重なって、印刷面が汚れてしまうことがあります。そのような場合は、ページ間休止を行う設定にすると防ぐことができます。

☑ …ページ間休止を行う

☐ …ページ間休止を行わない

どちらかに変更したら、[送信] をクリックします。

クオリティシート（オートパレットのプロパティ）

設定画面を開いて、［オートパレット詳細(E)...］をクリックすると、現在選択されているオートパレットのプロパティが表示されます。クオリティシートはその最初に表示される画面です。



◆設定項目の説明

①[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]	メインシートにある同項目(P.33)と同じです。
②[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ印刷(G)]	メインシートにある同項目(P.33)と同じです。
③[用紙の種類(O)]	メインシートにある同項目(P.33)と同じです。

④[給紙方法(B)]

給紙方法を変更したいときは、▼をクリックして一覧から選択します。

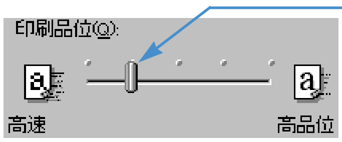
上段カセット→上段カセットから給紙する
下段カセット→下段カセットから給紙する
オートシートフィーダ→シートフィーダから給紙する
手差し→手差し給紙口に用紙をセットする
自動連続給紙→用紙がなくなったときに、オートシートフィーダ、上段カセット、下段カセットの順に自動的に給紙口を変更する

お願い
・用紙の種類によっては使用できない給紙方法があります。
・自動連続給紙を選択した場合は、３つの給紙口に同じ種類、同じサイズの用紙をセットしてください。

用紙の種類に合った給紙方法については→操作ガイド

⑤[印刷品位(Q)]

スライドバーを左右に移動して印刷品位を選択します。



右に行くほど品位は高くなり、左へ行くほど品位よりも高速性が優先されるようになります。

注）スライドバーの位置が左端になっているときは、普通紙耐水強化剤を使用しないで印刷します。

❻[ﾃﾞｨｻﾞﾘﾝｸﾞ設定(D)]

ハーフトーン（中間調）の画像の表現のしかたを選択します。次の4つから目的のものをクリックします。

☑ 自動（R）…原稿上の画像データを自動判別して、適切なディザリング方法に切りかえながら印刷する。



…印刷の品質よりも高速性を重視したいとき。



…画像の色の境界をくっきり見せたいとき。



…境界をぼかして微妙な色合いを表現したいとき。

それぞれの技術的な表現方法の違いについては→ヘルプ参照

❼[ｲﾒｰｼﾞﾃﾞｰﾀ補正(V)]

写真やグラフィックなどの画像（イメージ）データを拡大すると、印刷結果にジャギー（ギザギザ）が発生することがあります。イメージデータ補正を行うと、画像をなめらかに補正して印刷できます。

イメージデータ補正のオン、オフはチェックボックスをクリックして選択できます。

☑ …イメージデータ補正を行う（オン）

☐ …イメージデータ補正を行わない（オフ）

操作→画像をなめらかに補正する　P.66

❽[ﾌｫﾄﾃﾞｰﾀ補正(P)]

この機能はWindows 98、Windows 95のみで使用できる機能です。

フォトデータ補正は、スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像データの色調を補正する機能です。色かぶりや露出オーバー、露出アンダーが原因で色合いが悪くなっている画像データを美しく補正して印刷します。

フォトデータ補正のオン、オフはチェックボックスをクリックして選択できます。

☐ …フォトデータ補正を行わない（オフ）

☑ …フォトデータ補正を行う（オン）

[ﾊﾞﾅｰ紙（長尺紙）印刷]がオンになっているときは、[ﾌｫﾄﾃﾞｰﾀ補正(P)]をオンにしても機能しません。

❾[ﾍﾟｰｼﾞ内一括(E)]

[ﾌｫﾄﾃﾞｰﾀ補正(P)]がオンのときに選択できます。チェックボックスをクリックしてどちらかを選択します。

☐ …ひとつひとつの画像データごとに色調を補正する

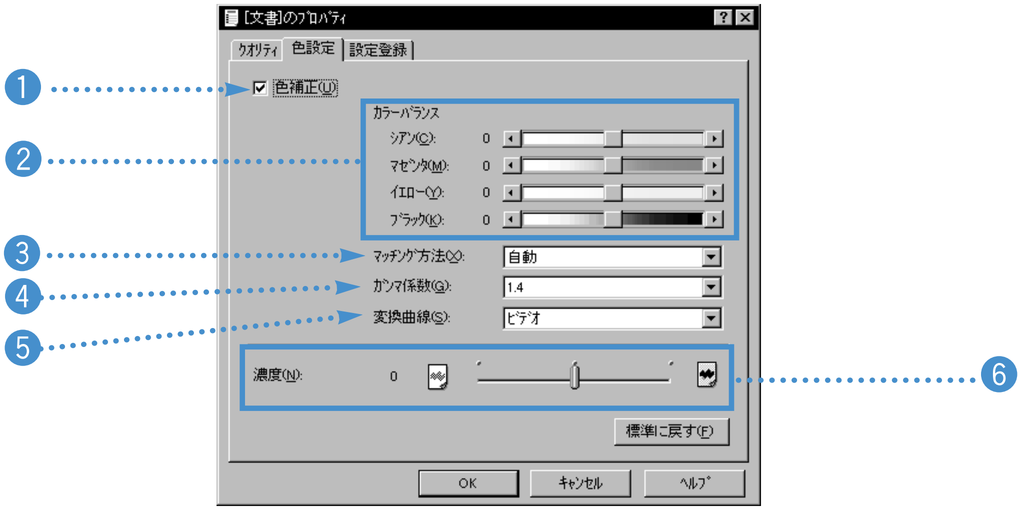
☑ …1ページ内にある画像の色調をまとめ補正する

ヒント

色調の異なる画像データが複数ある場合は、[ﾍﾟｰｼﾞ内一括(E)]をオフにしたほうが、個々の状態に合った補正を行うことができます。通常はこちらを選択してください。
ただし、切り抜きや回転などの加工を行った画像ﾃﾞｰﾀの場合は、オフの状態では補正が行われないことがあります。この場合は[ﾍﾟｰｼﾞ内一括(E)]をオンにしてください。

色設定シート（オートパレットのプロパティ）

オートパレットのプロパティで、[色設定]タブをクリックすると表示される画面です。



◆設定項目の説明

以下の項目の詳細はヘルプも参照してください。

① [色補正(U)]

チェックボックスをクリックして色補正を行うかどうか選択ができます。

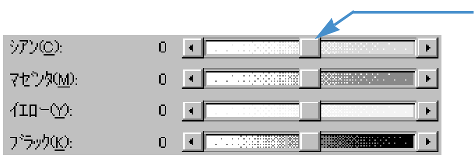
☑ …色補正をする（オン）

☐ …色補正をしない（オフ）

[色補正(U)]がオンの状態のとき、[ｶﾗｰﾊﾞﾗﾝｽ][ﾏｯﾁﾝｸﾞ方法(X)][ｶﾞﾝﾏ係数(G)][変換曲線(S)]の設定ができます。

② [ｶﾗｰﾊﾞﾗﾝｽ]

各色のスライドバーを左右に移動するか、◀ ▶ をクリックして濃淡を調節します。



右にするほど濃くなり、左にするほど薄くなります。-50～50(1単位)の幅で調整できます。

③ [ﾏｯﾁﾝｸﾞ方法(X)]

色の表現のしかたを設定します。▼ をクリックして一覧から選択します。

写真→中間色を重視して印刷するとき
グラフィックス→原色をあざやかに印刷するとき
自動→画像データを自動判別して最適なマッチング方法を選択するとき

❹ [ｶﾞﾝﾏ係数(G)]

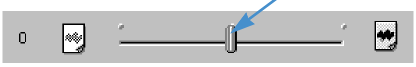
色のコントラストを設定します。▼をクリックして一覧から選択します。数値が大きくなるほど印刷結果は暗くなり、明るい部分のコントラストは強く、暗い部分のコントラストは弱くなります。

❺ [変換曲線(S)]

原稿の色に近づけるため、プリンタは印刷時に色を加工します。その加工方法を原稿に合わせて設定します。▼をクリックして一覧から選択します。
CG→ グラフィックソフトなどでCMYKで色を設定した原稿
スキャナ→スキャナで入力した原稿の色に近づけたいとき
ビデオ→画面で見ている色に近づけたいとき
デジタルカメラ→デジタルカメラの特性を考慮した色味にしたいとき

❻ [濃度(N)]

スライドバーを左右に移動して印刷の濃さを調節します。



右にするほど濃くなり、
左にするほど薄くなります。
-50～50(1単位)の幅で調整できます。

操作→印刷の濃淡を調整するP.67

設定登録シート（オートパレットのプロパティ）

オートパレットのプロパティで、[設定登録]タブをクリックすると表示される画面です。



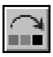
◆設定項目の説明

❶[登録一覧(L)]	すでに登録してあるオートパレットのタイトル、アイコン、コメントを変更したいときは、ここで対象となるオートパレットを選択します。また、不要なオートパレットを削除するとき、表示順序を変えたいとき、オートパレットをファイルとして保存したいときも、ここで対象となるアイコンを選択します。

❷アイコン移動ボタン

[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]に表示されるアイコンの順序を変えます。

 …[登録一覧(L)]で選択しているアイコンをひとつ前に移動します。

 …[登録一覧(L)]で選択しているアイコンをひとつ後ろに移動します。

操作→アイコンの表示順序を変える P.18

❸ [ﾀｲﾄﾙ(T)]

新しく登録するオートパレットのタイトルをここに入力します。また、[登録一覧(L)]で既存のオートパレットを選ぶと、ここにタイトルが表示され、修正できます。

操作→新しいオートパレットを登録するP.16

❹ [ｱｲｺﾝ一覧(I)]

新しく登録するオートパレットのアイコンを選択するときや、保存したオートパレットのアイコンを変更したいときに選択します。目的のアイコンを表示してクリックします。

❺ [ｺﾒﾝﾄ(C)]

新しく登録するオートパレットの内容がわかるように、説明文を入力します。また、[登録一覧(T)]で既存のオートパレットを選ぶか、メインシートの現在の設定で「～から変更」のアイコンを右クリックし、[名前をつけて保存(A)]を選択すると、ここにコメントが表示され、内容を修正できます。

❻ 保存(S)

新しいオートパレットの設定を、指定したタイトル、アイコン、コメントで保存し、メインシートの[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]から選択できるようにします。

操作→新しいオートパレットを登録するP.16

❼ 登録の削除(D)

[登録一覧(L)]で選択しているオートパレットを削除します。

操作→不要なオートパレットを削除する P.19

❽ ﾌｧｲﾙに保存(W)...

[登録一覧(L)]で選択しているオートパレットをファイルに保存します。

操作→オートパレットをファイルに保存する P.50

❾ ﾌｧｲﾙ読込(R)...

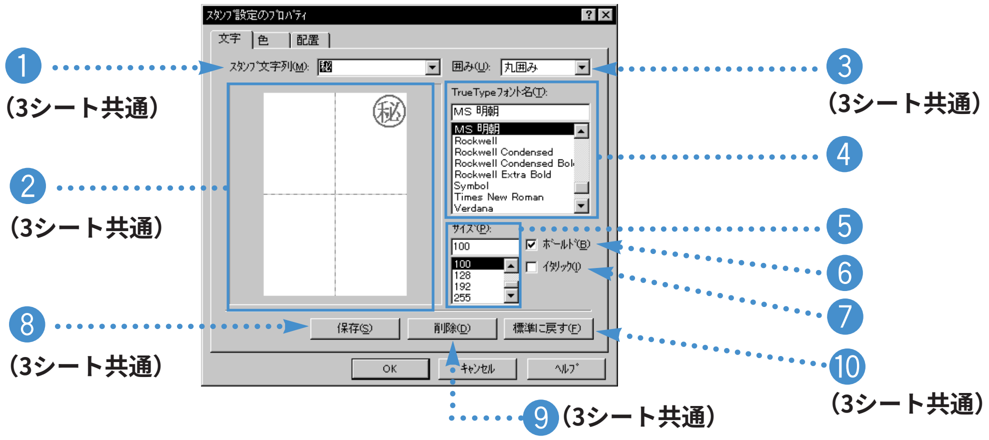
ファイルに保存したオートパレットを読込んで、[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]から選択できるようにします。

操作→ファイルに保存したオートパレットを読込む P.52

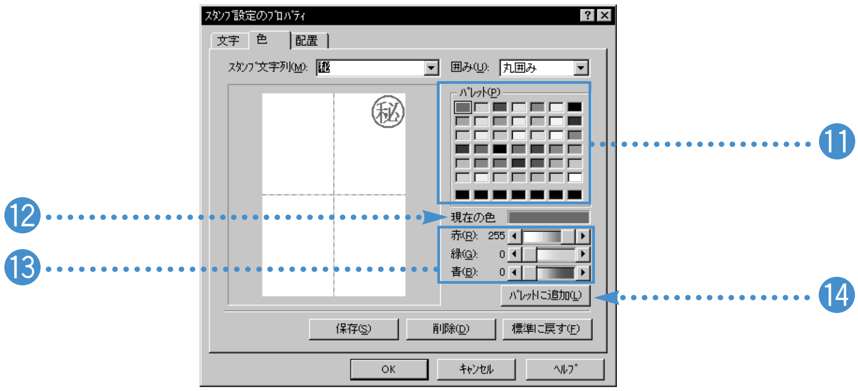
スタンプ設定のプロパティ

印刷制御シートで［スタンプ設定(Z)...］をクリックすると表示されます。スタンプ設定のプロパティは、新しいスタンプを作成する画面です。文字、色、配置の３枚のシートで構成されます。

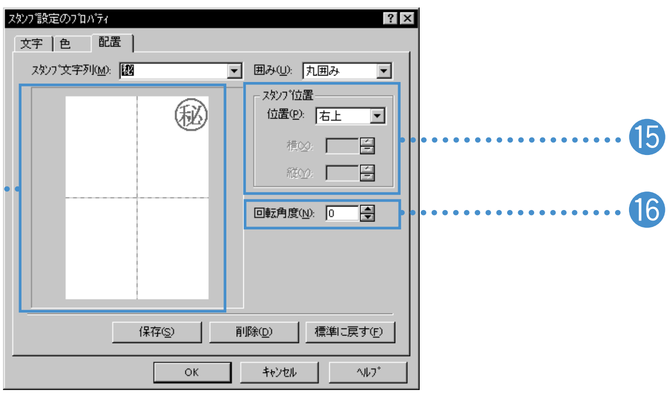
文字シート…スタンプ設定のプロパティで最初に表示される画面です。



色シート…[色]タブをクリックすると表示されます。



配置シート…[配置]タブをクリックすると表示されます。



このプレビュー画面でのみ、マウスのドラッグでスタンプ位置を変えることができます。

ここで使用している画面は、印刷制御シートの[ｽﾀﾝﾌﾟ(M)]で「秘」を選択している場合のものです。
「なし」が選択されているときは、プレビュー画面にはなにも表示されません。

① [ｽﾀﾝﾌﾟ文字列(M)]	スタンプに使用する文字を入力します。をクリックすると既存のスタンプ一覧を表示します。既存のスタンプを選択して、設定内容を変更することも可能です。
② プレビュー画面	スタンプがどのように印刷されるか確認することができます。
③ [囲み(U)]	スタンプ文字列を囲む枠の種類を選択できます。[枠囲み]を選択すると四角い枠で囲まれ、[丸囲み]を選択すると円で囲まれます。囲みが必要ないときは「なし」を選択します。
④ [TrueTypeﾌｫﾝﾄ名(T)]	スタンプに使用する文字の種類（フォント）を選択します。
⑤ [ｻｲｽﾞ(P)]	スタンプに使用する文字の大きさを選択します。
⑥ [ﾎﾞｰﾙﾄﾞ(B)]	スタンプに使用する文字を太字（ボールド）にしたいときは、チェックボックスをクリックしてオン（）の状態にします。
⑦ [ｲﾀﾘｯｸ(I)]	スタンプに使用する文字を斜体（イタリック）にしたいときは、チェックボックスをクリックしてオン（）の状態にします。
⑧ 保存(S)	設定した内容のスタンプを保存するときにクリックします。登録したスタンプは、印刷制御シートの[ｽﾀﾝﾌﾟ(M)]で選択できるようになります。
⑨ 削除(D)	不要になったスタンプを削除したいときにクリックします。
⑩ 標準に戻す(F)	各項目の設定を初期の状態（スタンプ文字列が設定されていない状態）に戻します。 参考→付録P.96
⑪ [ﾊﾟﾚｯﾄ(P)]	スタンプに使用する色を選択します。パレットにはあらかじめ42種類の色が登録されています。また、最下段の7種類はユーザーが作成した色を登録できます。

⑫ [現在の色]	現在設定されているスタンプの色を表示します。
⑬ [赤(R)]、[緑(G)]、[青(B)]	[現在の色]（⑫）に表示されている色の、RGB（赤、緑、青）の割合を表示します。各色のスライドバーを左右にドラッグして、好みの色を作成することも可能です。作成した色は[ﾊﾟﾚｯﾄ(P)]（⑪）に登録できます。
⑭ 	ユーザーが作成した色を、[ﾊﾟﾚｯﾄ(P)]（⑪)に登録するときにクリックします。新しい色を作成する場合は、赤(R)、緑(G)、青(B)（⑬）で好みの色を作成したあと、このボタンをクリックします。パレット上の空いている場所へ左から順に登録されます。 既に登録されている場所に新しい色を上書きする場合は、あらかじめ[ﾊﾟﾚｯﾄ(P)]の登録したい場所をクリックしてから、このボタンをクリックしてください。
⑮ [ｽﾀﾝﾌﾟ位置]	スタンプを印刷する位置を指定します。指定のしかたは次のいずれかの方法があります。 ・おおまかな位置を選択する [位置(P)]の▼をクリックして「中央」「左上」「右上」「左下」「右下」を選択します。 ・縦横の座標位置を指定する [位置(P)]の▼をクリックして「座標指定」を選択します。[横(X)][縦(Y)]のグレー表示が解除されますので、入力欄に直接数値を入力するか、▲▼をクリックして数値を変更します。原点(0,0)は用紙の中央になります。 ・プレビュー画面でスタンプをドラッグする 配置シートのプレビュー画面にマウスポインタを移動すると十字型（+）に変わります。マウスポインタをスタンプに合わせて、左ボタンを押しながら移動すると、スタンプの位置が変わります。目的の位置でマウスの左ボタンを離します。
⑯[回転角度(N)]	スタンプをどのような角度で配置するかを指定します。入力欄に直接数値を入力するか、▲▼をクリックして数値を変えます。-180〜180の範囲で指定できます。負（−）の数値を入力すると右回りに回転し、正の数値を入力すると左回りに回転します。

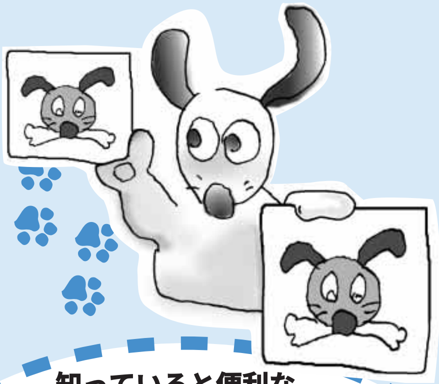
操作→オリジナルのスタンプを作成するP.65

応用編

印刷テクニックと便利な機能

機能を使いこなせばプリンタドライバではいろいろなことができます。ここでは少し高度なテクニックや知っておくと便利な機能を集めました。

オートパレットを整理したいとき



知っていると便利な印刷テクニック

プリンタの状態の確認とメンテナンス



プリンタの設定を変えたいとき

オートパレットをファイルに保存する

オートパレットをファイルに保存すると、フロッピーディスクに保存して整理したり、他のコンピュータでオートパレットを使用したりできるようになります。フロッピーディスクなどに保存したオートパレットは、ファイルの読込みを行うと[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で選択できるようになります。

オートパレットのファイルを読込む方法は→P.52

◆ファイルに保存する

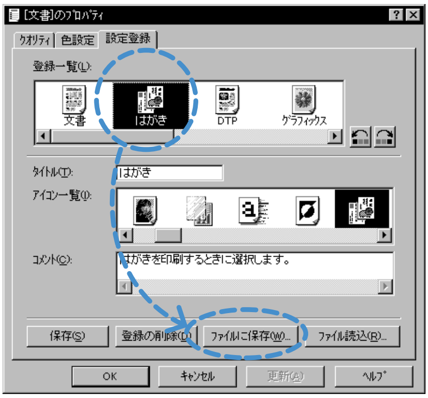
1 設定登録シートを表示します。



ヒント

設定登録シートを開くには、設定画面を開き [ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ詳細(E)...] をクリックし、[設定登録]タブをクリックします。

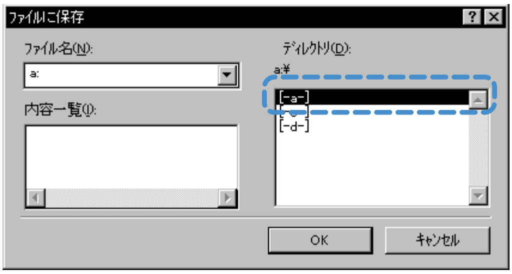
2 [登録一覧(L)]でファイルに保存したいオートパレットのアイコンを選択し、[ﾌｧｲﾙに保存(W)...] をクリックします。



ヒント

スクロールバーを移動するか、[◀] [▶] をクリックすると表示を変えることができます。ここでは例としてP.16の方法で新しく登録した「はがき」のアイコンを選択しています。

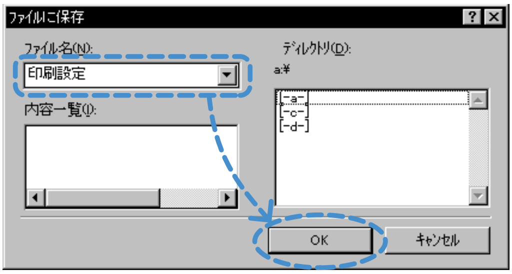
3 [ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ(D)]で保存するドライブ、ディレクトリを選択します。



ヒント

この例では、Aドライブのフロッピーディスクを選択しています。

4 [ﾌｧｲﾙ名(N)]の入力欄をクリックして、ファイル名を入力し、OK をクリックします。



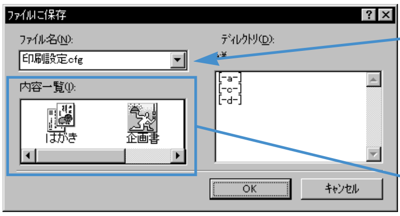
ヒント

ファイル名は半角8文字、全角4文字以内で入力してください。保存すると自動的に.cfgという拡張子が入力されます。
ここでは仮に「印刷設定」というファイル名をつけています。

オートパレットがファイルに保存されます。

複数のオートパレットをファイルに保存したいときは

ひとつのファイルには複数のオートパレットが保存できます。そのためオートパレットごとにファイル名をつけ直す必要はありません。



既存のファイルにオートパレットを追加する場合は、[ﾌｧｲﾙ名(N)]の ▼ をクリックし、一覧から選択するだけで済みます。

ファイルの中にどんなオートパレットが保存されているかを知りたいときは、[内容一覧(I)]で見てください。

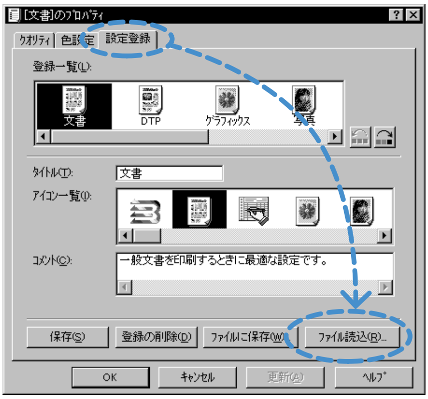
◆ファイルに保存したオートパレットを読込む

1

設定登録シートを表示し、
[ファイル読込(R)...] をクリックします。

ヒント

設定登録シートを開くには、設定画面を開き、[オートパレット詳細(E)...] をクリックし、[設定登録]タブをクリックします。

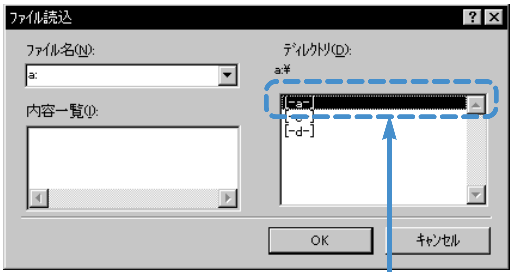


2

[ディレクトリ(D)]でオートパレットのファイルがあるドライブ、ディレクトリを選択します。

ヒント

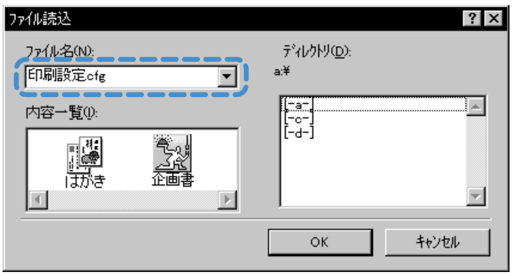
ここではAドライブのフロッピーディスクを選択しています。



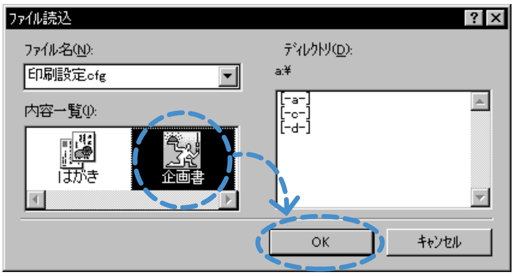
3

[ファイル名(N)]に入力するか、[▼] をクリックして使用したいオートパレットが入っているファイル名を選択します。

[内容一覧(I)]に保存されているオートパレットのアイコンが表示されます。



4 使用したいオートパレットのアイコンを[内容一覧(I)]から選択し、OK をクリックします。

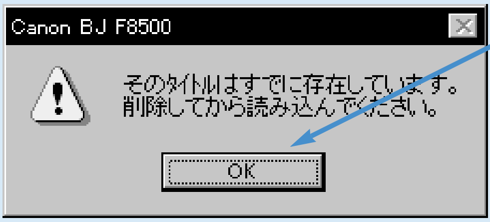


オートパレットが読込まれて[登録一覧(L)]に表示されます。これで[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]で選択できるようになります。



この画面が表示されたら・・・

[内容一覧(I)]で選択したオートパレットと同じタイトルのオートパレットが[登録一覧(L)]にあります。この場合は読込むことができません。



OK をクリックして、[ﾌｧｲﾙ読込]ダイアログボックスで ｷｬﾝｾﾙ をクリックします。

設定登録シートに戻ったら同じタイトルのオートパレットを削除し、もう一度ファイル読込を行ってください。
オートパレットの削除のしかたは→P.19

非定型の用紙に印刷する

A4やB5のような定型ではないサイズの用紙を使用するときは、アプリケーションソフトで縦横の長さを指定します。
印刷するときは、プリンタドライバの設定画面で、アプリケーションソフトで指定したサイズに一致させてください。

1

設定画面を開き、[用紙]タブをクリックします。



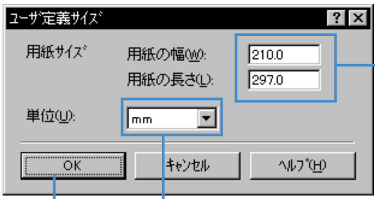
2

[▼]をクリックして[ﾕｰｻﾞ定義ｻｲｽﾞ...]をクリックします。

[ﾕｰｻﾞ定義ｻｲｽﾞ]ダイアログボックスが開きます。



3 用紙の幅と長さを入力し、[OK]をクリックします。



❷入力欄をクリックして、用紙の幅と長さを入力します。

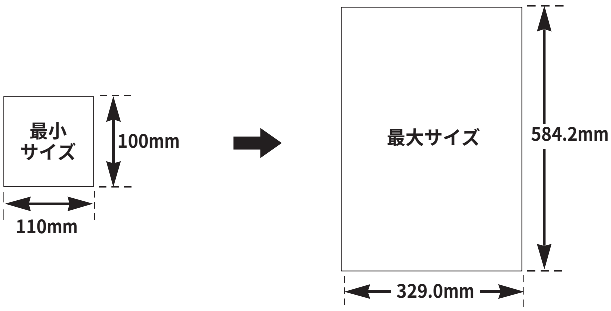
❶ここをクリックして、一覧から単位を選択します。

❸入力が終わったらクリックします。

STOP 用紙の縦横の長さを設定できるアプリケーションソフトを使用している場合は、アプリケーションソフトの設定と合わせてください。異なるサイズを指定すると正しく印刷できないことがあります。

ユーザ定義サイズで設定できる範囲

●原稿を拡大／縮小印刷しないときは、次の範囲であれば自由に用紙の幅と長さを設定できます。



原稿を90 回転させて印刷する

横長のレイアウトの原稿を縦置きの用紙に印刷すると、右側が入りきらないことがあります。こんなときは、[印刷方向]を[横(L)]に変えると、うまく納めることができます。

1 設定画面を開き、[用紙]タブをクリックします。



2 [印刷方向]で[横(L)]をクリックし、OK をクリックします。

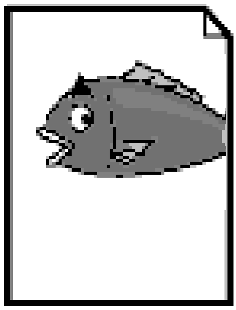


お願い

アプリケーションソフトの中には印刷方向を設定できるものがあります。その場合は、アプリケーションソフトで設定したのと同じものを、[印刷方向]で設定してください。

3 印刷を実行すると、原稿が90 回転した状態で印字されます。

印刷方向が[縦(P)]で納まらなかった原稿が・・・



[横(L)]ではきれいに納まるようになります。



原稿を拡大、縮小して印刷する

原稿の実サイズより大きく印刷することを拡大印刷、小さく印刷することを縮小印刷といいます。拡大/縮小の倍率を指定する方法もありますが、原稿の実サイズとプリンタにセットする用紙サイズを変える方法が簡単です。

アプリケーションソフトで設定した原稿のサイズとプリンタにセットする用紙のサイズを指定します。原稿サイズより大きな紙をセットすれば拡大、小さな紙をセットすれば縮小して印刷します。

1

設定画面を開き、[用紙]タブをクリックし、[拡大/縮小印刷(S)]をクリックして、の状態にします。

[ﾌﾟﾘﾝﾀの用紙ｻｲｽﾞ(O)]、[拡大／縮小率(C)]のグレー表示が解除されて、拡大/縮小印刷の設定ができる状態になります。



2

用紙シートの[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]に原稿の用紙サイズが設定されていることを確認します。



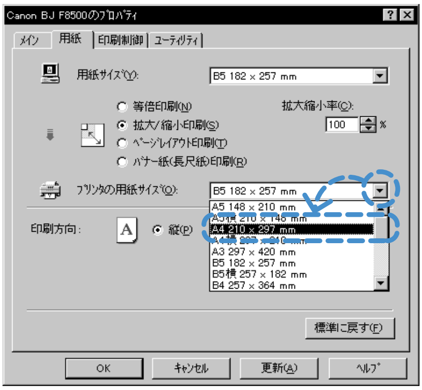
ヒント

原稿の用紙サイズはあらかじめアプリケーションソフトで設定しておきます。[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]が同じになっていない場合は変更してください。
ここでは仮にB5サイズを選択しています。

3 [ﾌﾟﾘﾝﾀの用紙ｻｲｽﾞ(O)]の▼をクリックして、一覧から実際にプリンタにセットする用紙サイズを選択します。

ヒント

[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]より大きい用紙を選択すると拡大、小さい用紙を選択すると縮小して印刷します。
ここでは仮にA4サイズを選択しています。



4 OK をクリックします。

印刷を実行すると、設定した用紙サイズから自動的に計算された拡大率（あるいは縮小率）で印字されます。

ヒント

この例ではB5サイズの原稿を、A4サイズにうまく納める倍率（115%）で印刷します。



倍率を直接設定したいときは

手順3で［拡大縮小率(C)］の入力欄に直接数値を入力します。



ヒント

[拡大縮小率(C)]の入力欄をクリックして、数値を入力します。
100%を実サイズとして、拡大率、縮小率を%で設定します。
ここでは仮に65%に設定しています。▲▼をクリックして数値を変えることもできます。

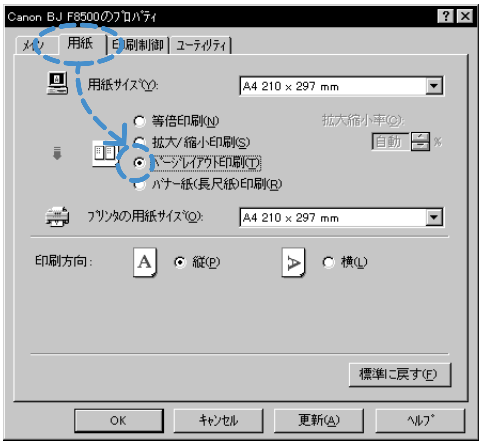
STOP

指定したあとは[ﾌﾟﾘﾝﾀの用紙ｻｲｽﾞ(O)]は変えないでください。

1枚の用紙に複数ページを印刷する

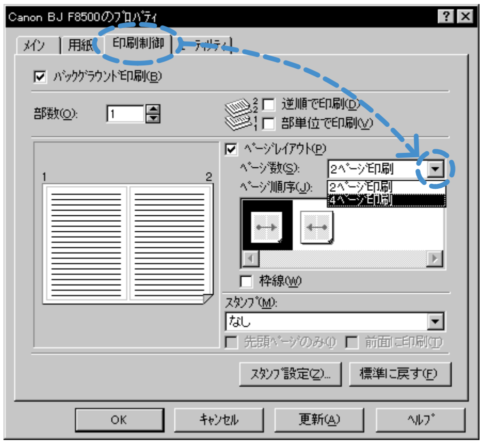
原稿を縮小して1枚の用紙に2ページ分または4ページ分印刷します。見開きでイメージを見たいとき、袋とじにするときに便利です。

1 **設定画面を開き、[用紙]タブをクリックします。用紙シートの[ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ印刷(T)]をクリックして の状態にします。**



2 **[印刷制御]タブをクリックして、[ﾍﾟｰｼﾞ数(S)]の をクリックし、何ページ印刷するか選択します。**

ここでは、例として「4ページ印刷」を選択しています。

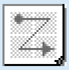


> **お願い**
> この機能は[ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ印刷(B)]がオフになっていると設定できません。オフになっているときはチェックボックスをクリックしてオンにしてください。

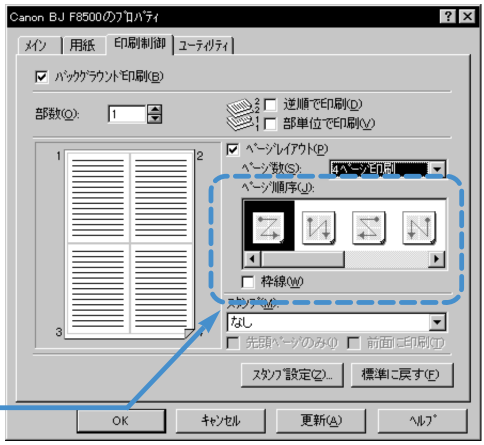
3 [ﾍﾟｰｼﾞ順序(J)]のアイコンをクリックして、ページの配置のしかたなどを選択します。

ヒント

アイコンの見かた

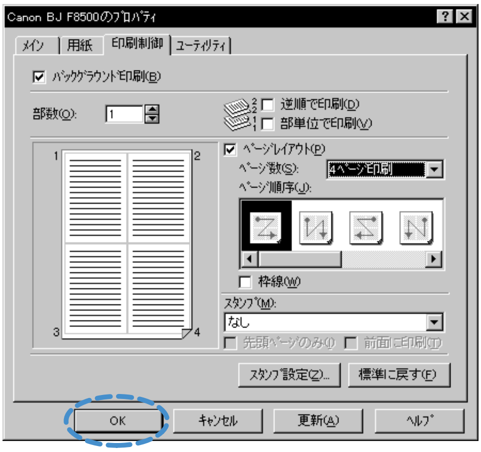

…矢印の起点から矢印の方向にページを配置します。プレビュー画面に表示されるページの並びを確認してください。

[枠線(W)]のチェックボックスをクリックして、☑の状態にすると、ページの周りに枠を印刷します。

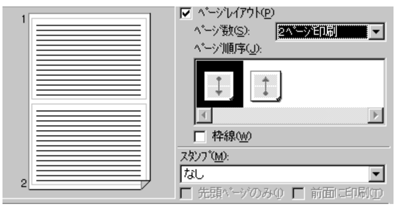


4 設定がすべて終了したら OK をクリックします。

この設定例では、印刷を実行すると4ページ分の原稿が１枚の用紙に配置されて印刷されます。



横長のレイアウトの原稿は…



2ページ印刷の場合、通常はページが左右に配置されますが、[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]で横置きのサイズを選択しているか、縦置きのサイズで[印刷方向]を[横(L)]に設定している場合は上下に配置されます。[ﾍﾟｰｼﾞ順序(J)]のアイコンも左のように変わります。

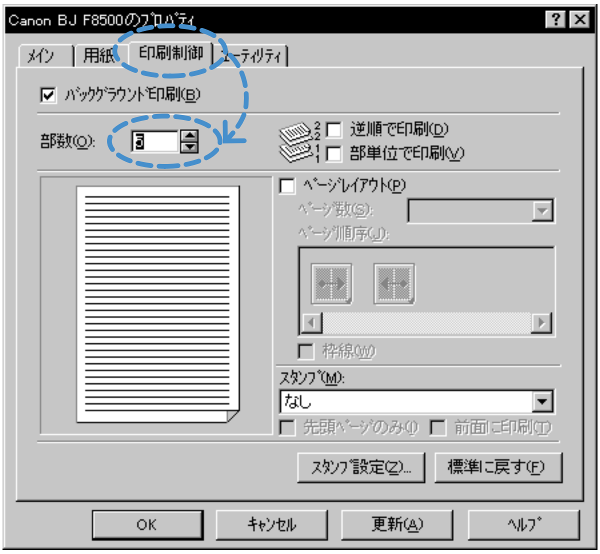
印刷テクニックと便利な機能

同じ文書を複数部印刷する

同じ文書を複数部印刷するときは、部単位で逆順に印刷すると、印刷後にまとめる手間が省けます。

1

設定画面を開き、[印刷制御]タブをクリックします。印刷制御シートで[部数(O)]の入力欄をクリックして何部印刷するかを入力します。



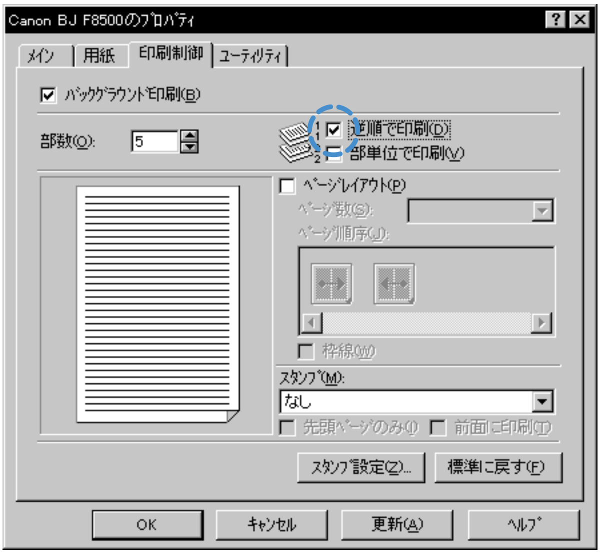
ヒント

をクリックしても部数を設定できます。

ここでは５部印刷する設定になっています。

2

[逆順で印刷(D)]のチェックボックスをクリックして、☑ の状態にします。



ヒント

逆順で印刷を行うと、最終ページから順に印刷されます。印刷が終了すると、最初のページが先頭にきますので、ページ順に並べ直す手間が省けます。

お願い

この機能は[ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ印刷(B)]がオフになっていると設定できません。オフになっているときはチェックボックスをクリックしてオンにしてください。

3 [部単位で印刷(V)]のチェックボックスをクリックして、☑ の状態にします。

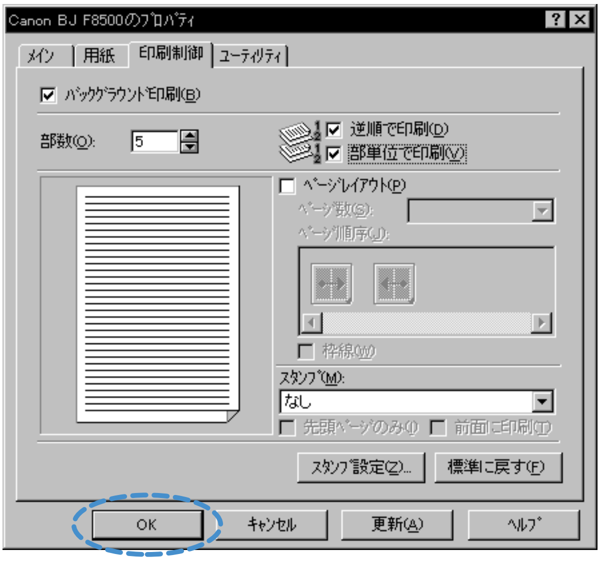


ヒント

部単位で印刷を行うと一部ずつ印刷するので、印刷後に並べ直す手間が省けます。

4 設定がすべて終了したら OK をクリックします。

印刷を実行すると1部ごとにまとまった順番で印刷されます。



STOP

アプリケーションソフトが同等の機能（複数部印刷、逆順印刷など）を持っているときは、プリンタドライバかアプリケーションソフトかどちらか一方だけ設定してください。両方に設定すると、枚数が両設定の積になったり、ページ順に戻ってしまったりすることがあります。

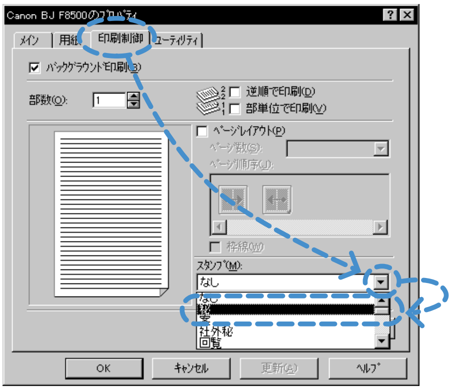
スタンプを印刷する

ビジネス文書などでよく使用する、「社外秘」や「重要」などのスタンプを、印刷時に入れることができます。ここでは、あらかじめ用意されているスタンプを印刷する方法を説明します。

1

設定画面を開き、[印刷制御]タブをクリックします。[ｽﾀﾝﾌﾟ(M)]の▼をクリックし、一覧から目的のスタンプを選択します。

ここでは、例として「秘」を選択しています。



2

必要に応じて、[先頭ﾍﾟｰｼﾞのみ(I)]、[前面に印刷(T)]チェックボックスをクリックして、 OK をクリックします。



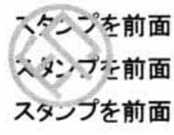
ヒント

[先頭ﾍﾟｰｼﾞのみ(I)]
印刷文書の1ページ目にのみスタンプを印刷するときはオン（☑）、すべてのページに印刷するときはオフ（☐）にします。

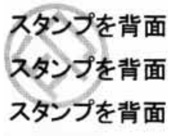
[前面に印刷(T)]
印刷文書の前面にスタンプを印刷するときはオン（☑）、背面に印刷するときはオフ（☐）にします。

前面と背面の印刷の違い

☑前面に印刷



☐前面に印刷



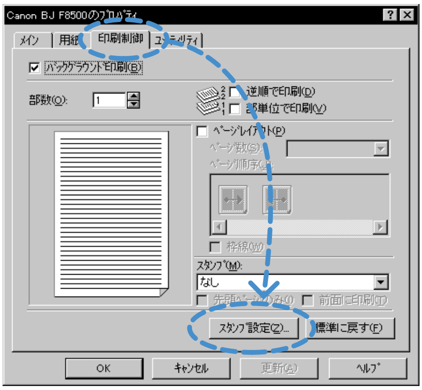
[前面に印刷(T)]をオンにすると、スタンプと重なる部分の印刷データは見えなくなります。
[前面に印刷(T)]をオフにすると、印刷データが見えなくなることはありません。ただし、アプリケーションソフトによっては、印刷データを描画する前にページを白く塗りつぶすため、スタンプが隠れてしまうことがあります。

オリジナルのスタンプを作成する

既存のスタンプ以外の文字列を入力して、新しいスタンプを作成することができます。また、保存したスタンプのフォント(文字の種類)や色、位置を変更することも可能です。ここでは、基本的な操作のみ説明します。

1

設定画面を開き、[印刷制御]タブをクリックし、 ｽﾀﾝﾌﾟ設定(Z)... をクリックします。



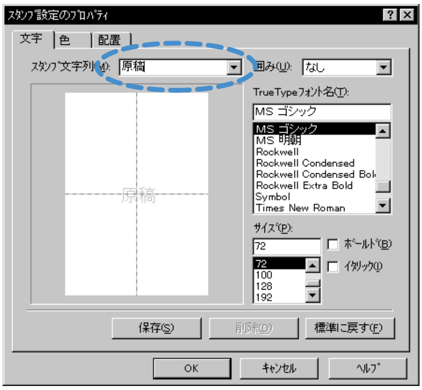
2

[ｽﾀﾝﾌﾟ 文字列(M)]にスタンプとして使用したい文字を入力します。

ここでは例として「原稿」と入力しています。

ヒント

プレビュー画面を見ながら、文字シート、色シート、配置シートで必要な設定を行います。各項目については中級編を参照してください。(→P.46)



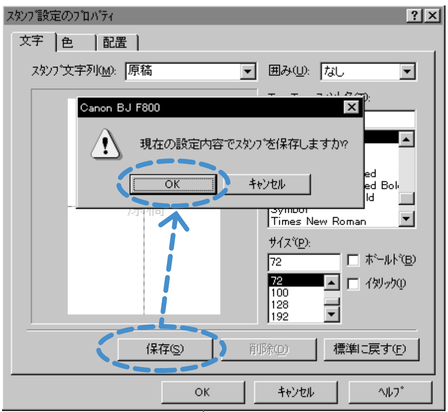
3

[保存(S)]をクリックし、メッセージが表示されたら OK をクリックします。

作成したスタンプが保存されます。

ヒント

スタンプ設定のプロパティを閉じて、新しいスタンプを印刷したいときは、 OK をクリックします。新しいスタンプは、[ｽﾀﾝﾌﾟ(M)]に表示されます。



画像をなめらかに補正する

写真やグラフィックスなどの画像（イメージ）データを拡大したとき、印刷結果にジャギー（ギザギザ）が発生することがあります。イメージデータ補正を行うと、このような画像をなめらかに補正して印刷します。

お願い

- イメージデータ補正を行うと印字時間が長くなることがあります。
- 使用しているアプリケーションソフトによっては、イメージデータ補正が働かなかったり、効果がはっきりわからないことがあります。
- 高解像度の画像データより低解像度の画像データの方が、補正の効果がはっきりします。

1

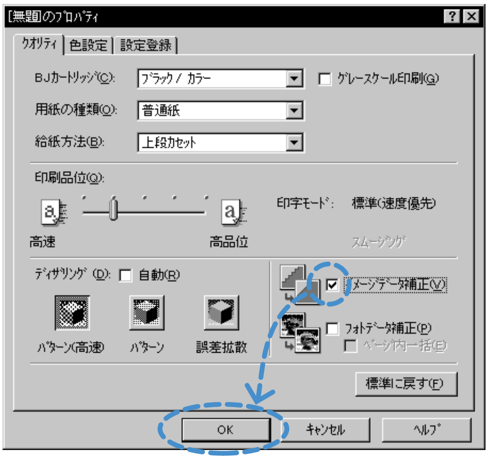
設定画面を開き、
[オートパレット詳細(E)...] をクリックします。

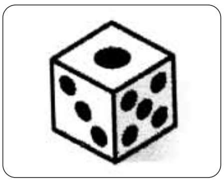
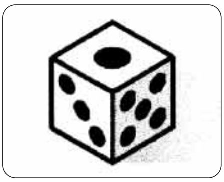


2

クオリティシートの[ｲﾒｰｼﾞﾃﾞｰﾀ補正(V)]のチェックボックスをクリックし、
[OK] をクリックします。
イメージデータ補正がオンの状態になります。

◆印刷を実行すると、画像データのジャギーをなめらかに補正した印刷結果になります。



補正なし	補正あり
	

印刷の濃淡を調整する

原稿の暗い部分がつぶれてしまうとき、明るい部分がとんでしまうときは印刷の濃度を調整します。

1 **設定画面を開き、**
オートパレット詳細(E)... をクリックします。



2 **[色設定]タブをクリックし、[濃度(N)]のスライドバーを左右に移動して調整します。**

ヒント

左に動かすと薄く、右に動かすと濃くなります。暗い部分がつぶれるときは薄い方へ、明るい部分がとんでしまうときは濃い方へ調整してください。



3 **調整が終ったら、 OK をクリックします。**



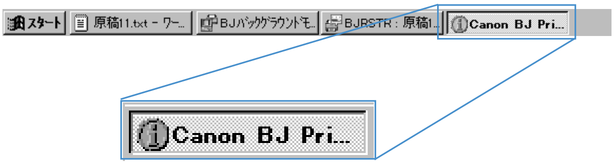
ＢＪステータスモニタの機能

ＢＪステータスモニタはプリンタの状態を画面に表示します。用紙がなくなったり、トラブルが発生すると、エラーや警告のメッセージを表示します。

◆BJステータスモニタの見かた

BJステータスモニタは、印刷を開始すると自動的に起動します。正常に印刷が行われている場合は、タスクバーにボタンが表示されます。

1 **印刷中にBJステータスモニタを開くときは、タスクバーのボタンをクリックします。**

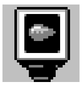


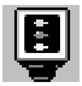
BJステータスモニタが表示されます。

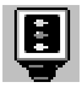


❶プリンタの状態や印刷の進行状況を、図とメッセージで表示します。

❷搭載されているBJカートリッジの種類をアイコンで表示します。


ﾌﾞﾗｯｸ…ブラックBJカートリッジを搭載


ﾌｫﾄ…フォトBJカートリッジを搭載


ｶﾗｰ…カラーBJカートリッジを搭載

※上の図は正常に印刷が行われているときの例です。

印刷が終了すると、自動的に閉じます。

ヒント

印刷していないときに、BJステータスモニタを開きたい場合は、プリンタドライバの設定画面を開き［ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ］タブをクリックして、 ｽﾃｰﾀｽﾓﾆﾀ起動(E) をクリックします。

BJステータスモニタの詳細については、BJステータスモニタの[ﾍﾙﾌﾟ(H)]メニューの[ﾄﾋﾟｯｸの検索(H)]を選択してください。

お願い

◆エラーが発生したときは

プリンタに用紙切れや、紙詰まりなどのトラブルが発生すると、BJステータスモニタは自動的に[ﾌﾟﾘﾝﾀｽﾃｰﾀｽ]シートを開きます。

1 **プリンタステータスシートのメッセージや絵を見て、発生しているエラーの状況を確認します。**

ヒント

印刷を中止したいときは 印刷中止(C) をクリックします。確認のメッセージが表示されたら OK をクリックします。

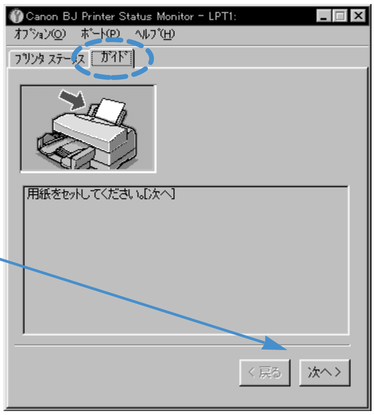


2 **[ｶﾞｲﾄﾞ]タブをクリックして、対処のしかたを確認します。**

ヒント

メッセージ表示欄に[次へ]と表示されたときは、次へ> をクリックすると続きを読むことができます。

<戻る をクリックするとひとつ前の表示に戻ります。



3 **メッセージに従って必要な対処を行います。**

エラーが復旧すると印刷が再開されます。

BJステータスモニタを印刷中常に開くようにしたいとき

[ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)]メニューの[印刷中常に表示(D)]を選択して、チェック（✔）がついた状態にしてください。

BJバックグラウンドモニタの機能

ＢＪバックグラウンドモニタは、バックグラウンドで行われている印刷処理の進行状況を確認するものです。印刷待ちの文書の順番を変更したいとき、文書を指定して印刷を中止したいときにも使います。

お願い

BJバックグラウンドモニタには、このほかデーター時保管用のディレクトリやアプリケーションソフトの処理に対するバックグラウンド印刷の優先度などを設定する機能があります。
これらの詳細については、BJバックグラウンドモニタの[ﾍﾙﾌﾟ(H)]メニューの[ﾍﾙﾌﾟ(H)]を参照してください。

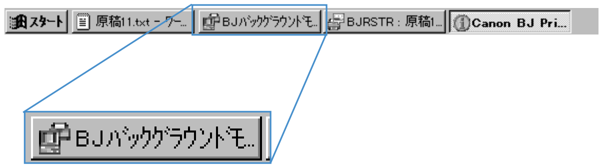
STOP

BJバックグラウンドモニタはプリンタのプロパティの印刷制御シートにある[ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ印刷(B)]がオフになっているときは使用できません。

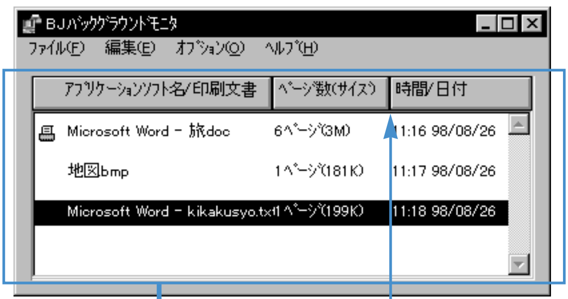
◆BJバックグラウンドモニタの見かた

[ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ印刷(B)]がオンになっているときは、印刷を開始すると自動的にBJバックグラウンドモニタが起動し、タスクバーにボタンが表示されます。

1 **BJバックグラウンドモニタを開くときは、タスクバーのボタンをクリックします。**



BJバックグラウンドモニタに、印刷中、印刷待ちの文書の名前が一覧で表示されます。



表示項目の内容

■ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ名/印刷文書
文書ファイル名が表示されます。
印刷中の文書には 🖶 がつきます。

■ページ数(サイズ)
ページ数とbyte数で文書サイズを表示します。

■時間/日付
印刷を開始した時刻と日付が表示されます。

ヒント

境界線にポインタを置いてドラッグすると、項目の幅を変更できます。

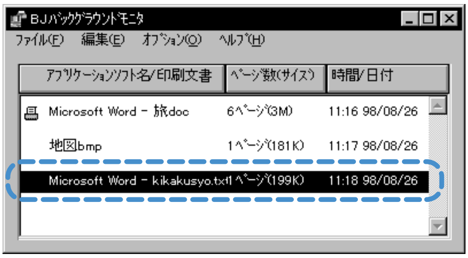
◆印刷する順番を変えるには

BJバックグラウンドモニタに表示されている印刷待ちの文書の位置を変えて、印刷する順番を変更できます。

STOP

- 印刷中の文書の順番は変えることができません。
- 印刷の順番を変える操作の間は、印刷が一時的に止まります。

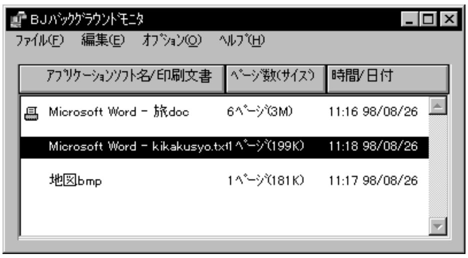
1 順番を変えたい文書の上にマウスポインタを置きます。



2 マウスの左ボタンを押したまま、移動したい位置までドラッグします。



3 移動したい位置まできたら、マウスの左ボタンを離します。



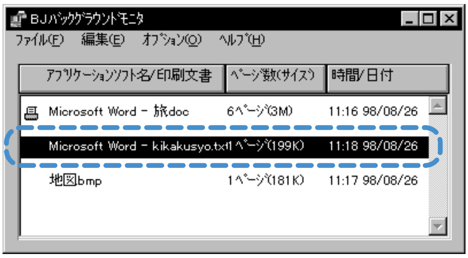
◆印刷を中止するには

BJバックグラウンドモニタ上で、特定の文書を選択して印刷の実行を中止できます。印刷中、印刷待ちの文書にかかわらず選択できます。

ヒント

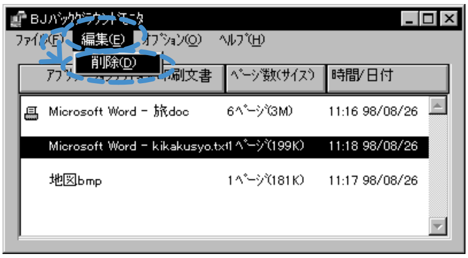
印刷中の文書の中止はBJバックグラウンダでもできます。
→P.24

1 **印刷を中止したい文書をクリックします。**



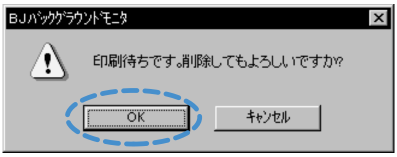
2 **[編集(E)]メニューから[削除(D)]を選択します。**

確認のメッセージが表示されます。



3 **削除する場合は、**  **をクリックします。**

文書が削除されます。





◆BJバックグラウンドモニタを終了するには

作業が終ったら、BJバックグラウンドモニタを終了させてください。

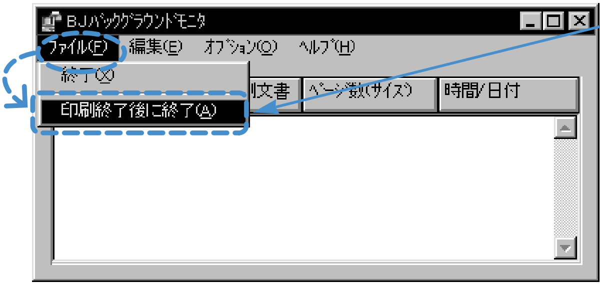
1

[ﾌｧｲﾙ(F)]メニューの[終了(X)]を選択します。

BJバックグラウンドモニタが終了します。



印刷終了後に自動的に終了したい場合は…



[ﾌｧｲﾙ(F)]メニューの[印刷終了後に終了(A)]を選択し、チェックマーク（✔）がついた状態にして一度終了させます。

以後は、印刷を終了するとBJバックグラウンドモニタは終了するようになります。

テストプリントを行う

ユーティリティシートのアイコンをクリックすることで、ノズルチェックパターン、プリントヘッドの位置調整パターンを印刷できます。

◆ノズルチェックパターンの印刷

ノズルチェックパターンはプリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているか確認するためのものです。プリンタ本体のボタンからも実行できます。

1 **設定画面を開き、[ユーティリティ]タブをクリックします。**



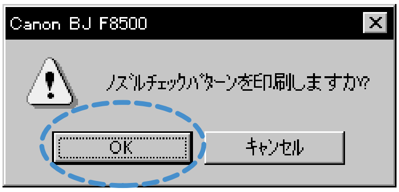
2 **ノズルチェックパターン印刷のアイコンをクリックします。**



3 **メッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、用紙がセットされていることを確認して、OK をクリックします。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

パターンの見かたは「操作ガイド」の「ノズルチェックパターンを印刷する」を参照してください。



◆プリントヘッド位置調整パターンの印刷

プリンタに装着している２つのカートリッジのプリントヘッド位置を揃えるために、プリントヘッドの位置調整パターンを印刷します。パターンの中で最もずれが少ないものを選択して、数字を入力すると、２つのプリントヘッド位置が調整できます。BJカートリッジを交換したあとに行うことをお勧めします。

ここでは、パターンの印刷を実行するまでの操作を説明します。

1

設定画面を開き、[ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]タブをクリックします。



2

プリントヘッドの位置調整のアイコンをクリックします。

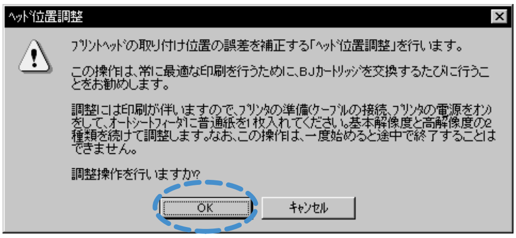


3

メッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、用紙がセットされていることを確認して、 OK をクリックします。

プリントヘッドの位置調整パターンが印刷されます。

以降の操作は「スタートガイド」を参照してください。



プリントヘッドのクリーニングを行う

ユーティリティシートのアイコンをクリックすることで、プリントヘッドのクリーニングが実行できます。クリーニングには通常のクリーニング、ヘッドリフレッシング、タンク別クリーニングの3種類があります。

◆クリーニングの実行

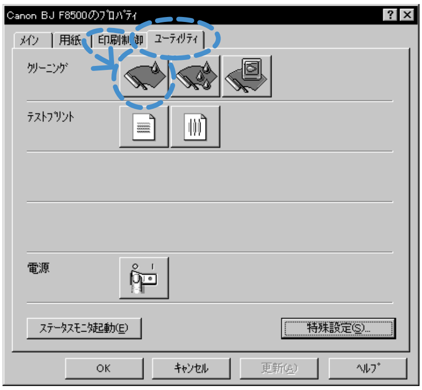
ここではクリーニングの操作のみ説明します。クリーニング機能の詳細は「操作ガイド」の「プリントヘッドのクリーニングを行う」を参照してください。

1

設定画面を開き、[ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]タブをクリックし、クリーニングのアイコンをクリックします。

ヒント

をクリックするとヘッドリフレッシングを行います。クリーニングより強力で、インクを多く消費します。

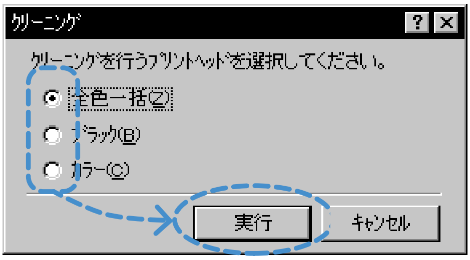


2

クリーニングを行うプリントヘッドを選択し、実行 をクリックします。

ヒント

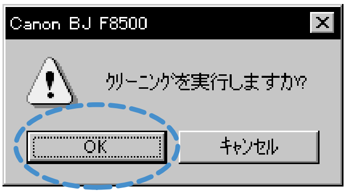
全色一括 …すべてのBJカートリッジのプリントヘッド
ブラック …ブラックインクが入っているBJカートリッジのプリントヘッド
カラー …カラーインク（フォトも含む）が入っているBJカートリッジのプリントヘッド



3

メッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、OK をクリックします。

クリーニングが開始されます。



◆タンク別クリーニングの実行

インクが残っているインクタンクを新品のものに交換したとき(インク残量警告が表示される前の交換)や、特定の色がかすれたとき等は、インクタンク別クリーニングを行います。

1

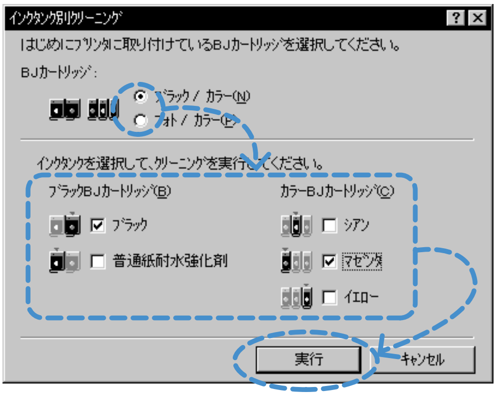
ユーティリティーシートで、タンク別クリーニングのアイコンをクリックします。



2

はじめにプリンタに装着しているBJカートリッジの種類を選択します。次に、クリーニングを行うプリントヘッドを、インクタンクの色で選択し、[実行]をクリックします。

クリーニングが開始されます。



ヒント

ここではブラックBJカートリッジとカラーBJカートリッジを装着している場合を例にしています。ブラックとマゼンタのチェックボックスをクリックしてプリントヘッドを選択しています。

プリンタを追加する

他のBJプリンタを使用したい場合は、プリンタの追加を行う必要があります。

1

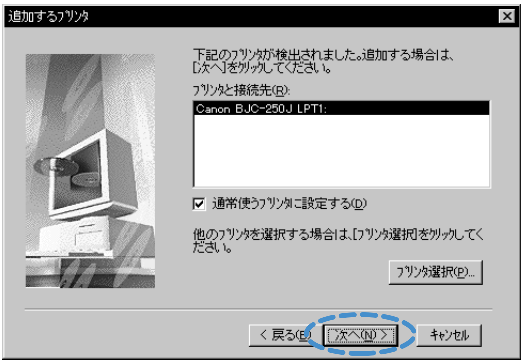
[スタート] をクリックし、[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]、[BJﾗｽﾀﾌﾟﾘﾝﾀ]、[BJﾌﾟﾘﾝﾀの追加]を順に選択します。

プリンタの自動検出が行われます。

2

コンピュータに接続しているプリンタ名が表示されたら、[次へ(N) >] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



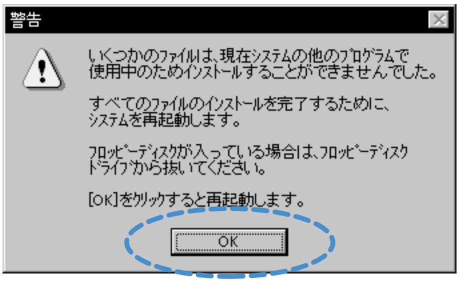
ヒント

この例では、BJC-250Jが検出されています。もし、表示されている以外のプリンタを追加したい場合は、[ﾌﾟﾘﾝﾀ選択(P)...] をクリックし、機種名と接続先（LPT1）を選択してください。

3

[OK] をクリックします。

プリンタの追加を完了するためにWindows を再起動します。再起動後は[プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンが表示されます。



こんな画面が表示されたら・・・



プリンタの自動検出ができなかったときは、左の画面が表示されます。
追加したいプリンタの機種名と接続先（LPT1）を選択し、[OK] をクリックします。

不要になったプリンタドライバを削除する

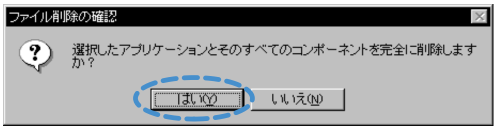
プリンタドライバは将来的に新しいバージョンが提供される可能性があります。新しいバージョンをインストールする前に、以前に使っていたプリンタドライバは削除しておいてください。以下の手順でプリンタドライバに関連するファイルを一度に削除できます。

お願い 特定の機種だけを削除するときは、この機能は使わないでください。特定の機種を削除したい場合は［スタート］から［設定］［プリンタ］を選択し、削除したい機種のアイコンを右クリックします。［削除］を選択するとメッセージが表示されるので［はい(Y)］をクリックします。

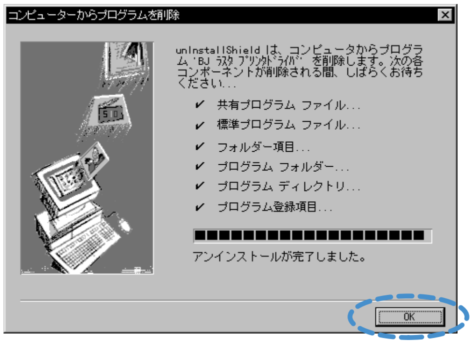
1 ［スタート］をクリックし、[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]、[BJﾗｽﾀﾌﾟﾘﾝﾀ]、[ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾗ]を順に選択します。

2 プリンタドライバを削除する場合は［はい(Y)］をクリックします。

削除が開始されます。

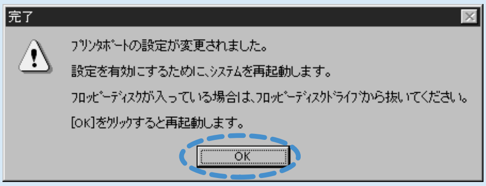


3 ［OK］をクリックします。



◆以上でプリンタドライバの削除は完了です。

こんな画面が表示されたら・・・



ご使用の環境によっては左のメッセージが表示される場合があります。
この場合は、［OK］をクリックしてください。
コンピュータが再起動されます。

【プリンタをＥＣＰモードで使用するには】

◆ ＥＣＰモードとは

コンピュータとプリンタ間のデータ転送は、通常、コンパチブルモードと呼ばれる方式で行っています。コンパチブルモードは、プリンタとのインタフェースとして一般的な「セントロニクス」準拠のモードです。この方式をECPモードと呼ばれる方式に切り換えることができます。

ECPモードは、従来のインタフェースと互換をとりつつ、より高速なデータ転送を可能にしたモードです。お使いのコンピュータによっては、コンパチブルモードよりも高速にデータを転送ができるため、印刷にかかる時間が短くなります。

◆ インストール時のLPT.VXDファイルの更新について

Windows 95の場合、「LPT.VXD」というファイルのバージョンが古いと、ECPモードで正しくプリンタが使用できないことがあります。このトラブルを回避するため、プリンタドライバのインストール時に、「LPT.VXD」のバージョンを自動的にチェックし、古い場合は更新します。更新した場合のプリンタポートの名称は「Canon BJ×××プリンタポート」となります。

元の「LPT.VXD」に戻したい場合は、プリンタドライバの設定画面で[ヘルプ]をクリックし、目次から[トラブルシュート]、[Canon BJプリンタポートで印刷がうまくできない]を選択します。説明の下にある[元のプリンタポートに戻す]をクリックすると、元のLPT.VXDに戻ります。

◆ ＥＣＰモードで使用するための前提条件

・ お使いのコンピュータ、プリンタケーブルがECPモードに対応していること。
・ コンピュータのBIOS設定でパラレルポートを「ECP」に設定してあること。

お願い

ECPモードに対応しているかどうかは、コンピュータやプリンタケーブルお買い上げの販売店等にお問い合わせください。BIOS設定については、コンピュータの取扱説明書を参照するか、コンピュータの販売店、開発元にお問い合わせください。

◆プリンタをＥＣＰモードに変更するには

プリンタドライバの設定画面を開き、以下の操作を行ってください。

① [ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]タブをクリックし、ユーティリティシートを開く。
② [特殊設定(S)]をクリックして、特殊設定ダイアログボックス（→P.39）を開く。
③ [ﾌﾟﾘﾝﾀをECPﾓｰﾄﾞにする(M)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークをつける
④ プリンタの電源が入っていることを確認し、[送信]をクリックする。
⑤ メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、プリンタはECPモードに変更されます。

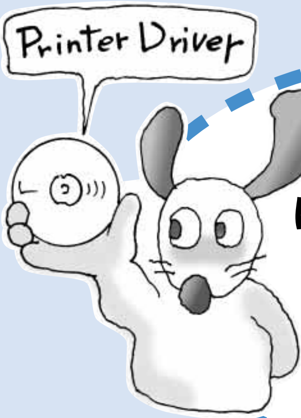
ヒント

ECPモードで印刷がうまくいかないときは、同様の手順で[ﾌﾟﾘﾝﾀをECPﾓｰﾄﾞにする(M)]のチェックマークを消して、[送信]をクリックしてください。プリンタの電源をいったん切ってから、電源を入れ直すと、元のモードになります。

Windows3.1編

Windows 3.1で使用する

プリンタドライバをWindows 3.1で使う場合にお読みください。インストール方法や画面のデザインはWindows 95、Windows 98で使う場合とは違いますが、機能は同等です。



はじめにやっておくこと

使いかたのガイド



便利な知識

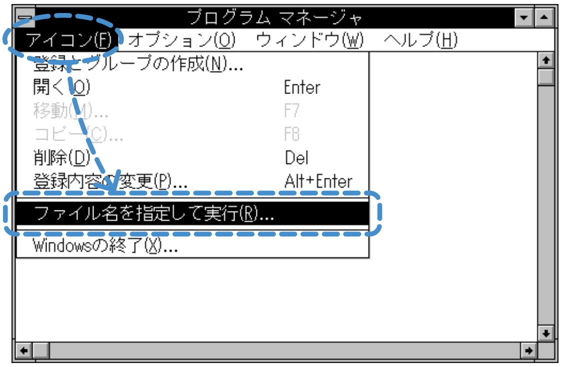
プリンタドライバをインストールする

Windows 3.1を起動して、プリンタドライバをインストールします。

お願い

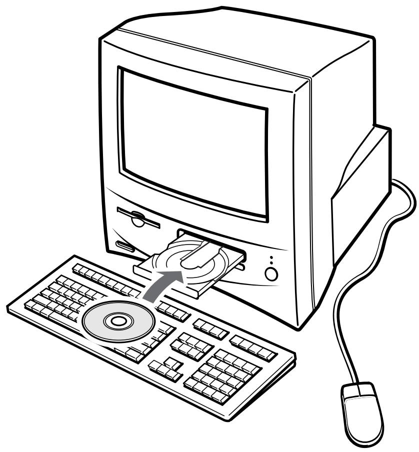
- お使いのコンピュータにバージョンの異なるプリンタドライバが存在する場合は、インストールの前に必ず削除してください。削除の方法はP.94を参照してください。
- インストールはすべてのアプリケーションソフトを終了させてから行ってください。開いているとインストールが実行できません。

1 プログラムマネージャの[アイコン(F)]メニューから[ファイル名を指定して実行(R)...]を選択します。

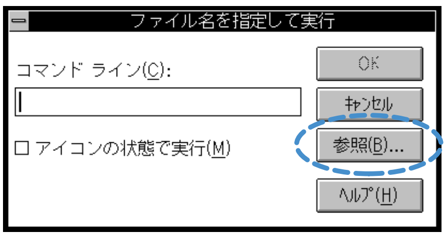


2 プリンタドライバのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。





3 [参照(B)...] をクリックします。



4

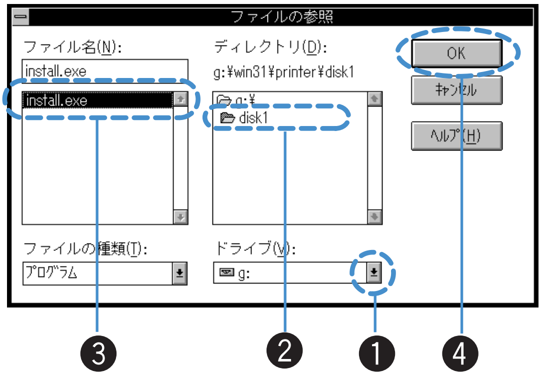
「install.exe」を選択します。

❶[ドライブ(V)]の ▼ をクリックし、一覧から使用しているCD-ROMドライブ名をクリックします。

❷[ディレクトリ(D)]の一覧から「disk1」をクリックします。

❸[ファイル名(N)]一覧に表示された「install.exe」をクリックします。

❹最後に OK をクリックします。



ヒント

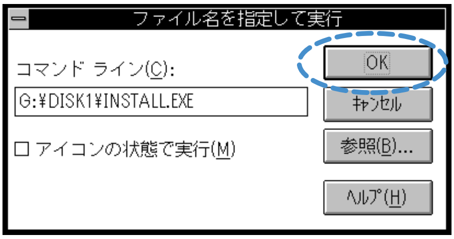
選択に迷ったら

CD-ROMドライブは のアイコンで表示されます。選択に迷ったら同じアイコンを選んでください。

5

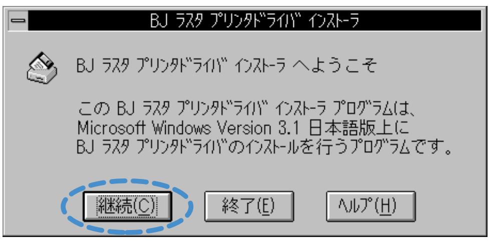
再び OK をクリックします。

しばらくすると「BJラスタプリンタドライバインストーラ」のダイアログボックスが表示されます。



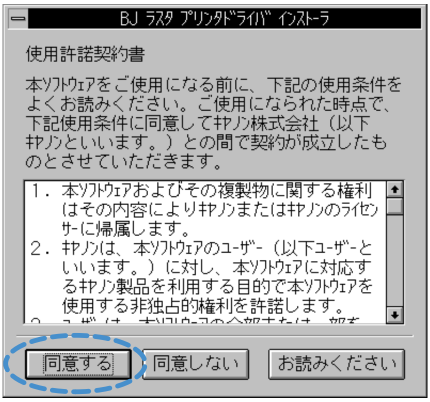
6

継続(C) をクリックします。



7

使用許諾契約書の内容をよく読んでから、同意する場合は、[同意する]をクリックします。



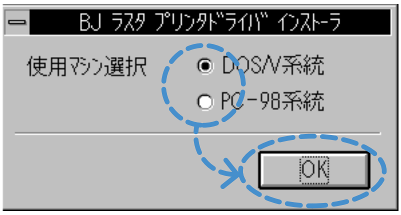
ヒント

[同意しない] をクリックすると、インストールを中止して終了します。
[お読みください] をクリックすると、readme.txtファイルの内容を読むことができます。

8

お使いのコンピュータに合わせて、[DOS/V系統]か[PC-98系統]のラジオボタンをクリックし、[OK] をクリックします。

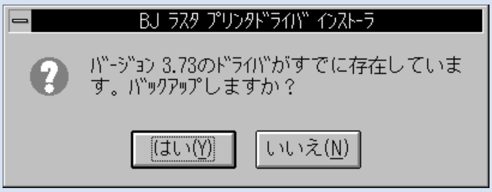
インストールダイアログボックスが開きます。



ヒント

NECのPC-9800シリーズなどをお使いの場合は[PC-98系統]、IBMとそれらの互換機をお使いの場合は[DOS/V系統]を選択します。そのほかの機種をお使いの場合は[DOS/V系統]を選択してください。

この画面が表示されたら・・・



お使いのコンピュータに以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされています。どちらかのボタンをクリックして、手順9に進んでください。

[はい(Y)]……以前のバージョンのバックアップを作成します。

[いいえ(N)]……バックアップを作成しないで上書きします。

9

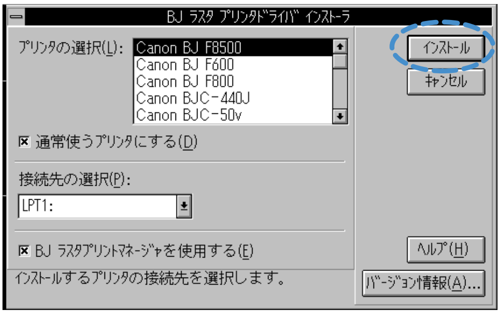
項目の内容が、以下のようになっていることを確認して [インストール] をクリックします。

[プリンタの選択(L)]…Canon BJ F8500

[☒ 通常使うプリンタにする(D)]

[接続先の選択(P)]…LPT1:

[☒ BJラスタプリントマネージャを使用する(E)]

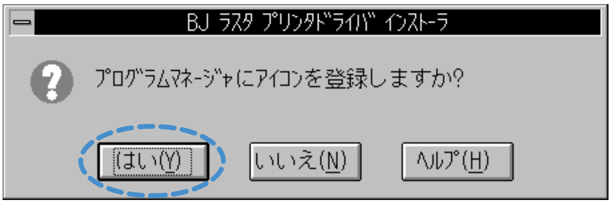


インストールが始まり、ファイルのコピー状況を表示します。

10

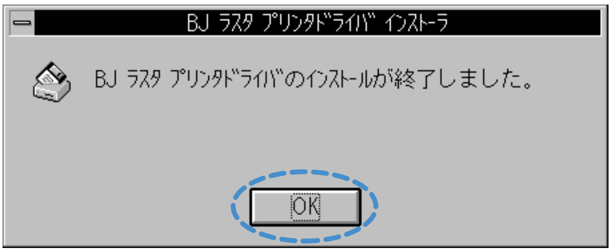
右のメッセージが表示されたら、[はい(Y)] をクリックします。

プログラムマネージャに「BJラスタプリンタドライバ」グループが作られます。



11

[OK] をクリックします。



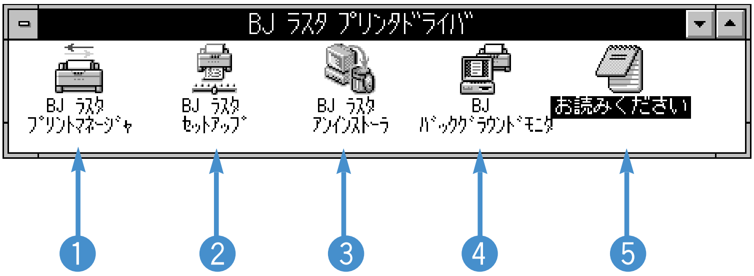
◆これでインストールは終りです。

画面には「BJラスタプリンタドライバ」グループが表示されます。

手順7で [お読みください] をクリックしなかったときは、readme.txtファイルも表示されます。

◆「BJラスタプリンタドライバ」グループについて

手順10で［はい(Y)］をクリックした場合は、プログラムマネージャに次のようなアイコンが追加され、プリンタドライバの機能をサポートするソフトウェアを起動できるようになります。



①BJラスタ プリントマネージャ

BJステータスモニタを起動するためのプリントマネージャです。

ヒント

プリンタドライバをインストールすると、Windows標準のプリントマネージャは自動的に「使用しない」設定になります。これは標準のプリントマネージャを使わない方が印刷が速くなるからです。Windows標準のプリントマネージャを使いたい場合は、BJラスタセットアップの[プリントマネージャを使用する]で[Windows標準(U)]を選択してください。

②BJラスタセットアップ

プリンタドライバのメインダイアログボックスを単独で開きます。また、プリンタの接続先、通常使うプリンタ、プリントマネージャを変更します。

③BJラスタ アンインストーラ

不要になったプリンタドライバを関連ファイルごとまとめて削除します。

④BJバックグラウンド モニタ

バックグラウンドで行っている印刷の状況を確認したり、印刷を中止できます。

⑤お読みください

readme.txtファイルを読むときに選択します。アプリケーションソフト使用時の制限事項などの情報が書かれています。

◆プリンタを追加するには

他のBJプリンタを使用したい場合は、以下の手順でプリンタの追加を行ってください。

1

「BJラスタプリンタドライバ」グループを開き、 

をダブルクリックします。

ダイアログボックスが開きます。



2

[追加]タブをクリックし、[追加プリンタの選択(L)]の[↓]をクリックし、一覧から機種名を選択します。

ヒント

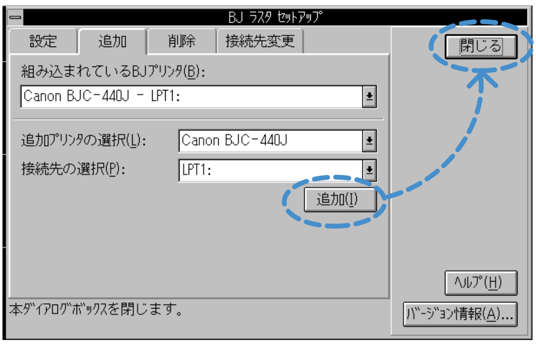
ここでは例としてBJC-440Jを選択しています。



3

[追加(I)]、[閉じる]を順にクリックします。

ダイアログボックスが閉じます。



◆ 以上でプリンタの追加は完了です。

設定画面を開く

インストールしたプリンタドライバの設定画面（メインダイアログボックス）を開きます。

◆アプリケーションソフトから開く

通常はこの方法でメインダイアログボックスを開き、印刷設定を行います。

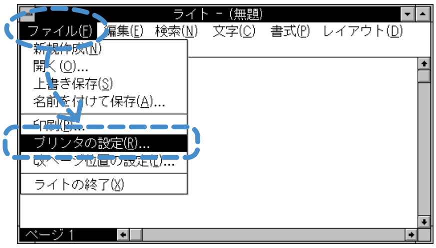
お願い

操作のしかたはアプリケーションソフトによって違います。お使いになっているアプリケーションソフトのマニュアルも併せて参照してください。

1

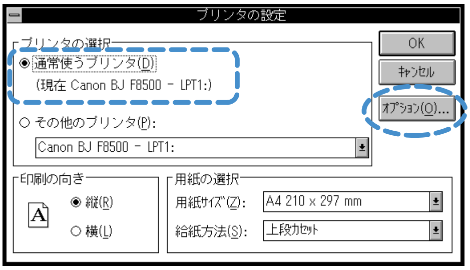
アプリケーションソフトの印刷を実行するメニュー項目を選択します。

一般的には[ファイル(F)]メニューの[印刷]、[プリンタの設定]などを選択すると、ダイアログボックスが開きます。



2

プリンタの設定をするダイアログボックスで[通常使うプリンタ(D)]が「Canon BJ F8500」になっていることを確認して、オプション(O)... など、プリンタドライバを開くボタンをクリックします。



プリンタドライバのメインダイアログボックスが開きます。



◆単独で開く

アプリケーションソフトから開いたとき、設定項目がグレー表示になっていて変更できないことがあります。そのときは改めてこの方法でメインダイアログボックスを開き直し、印刷設定を行ってください。

1

「BJラスタプリンタドライバ」グループを開き、 

をダブルクリックします。

ダイアログボックスが開きます。



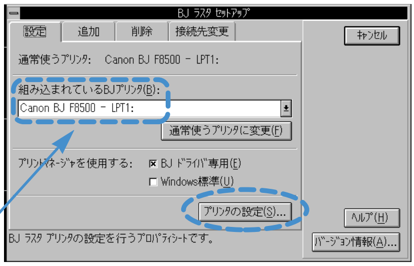
2

[設定]シートの[組み込まれているBJプリンタ]に[Canon BJ F8500]が表示されていることを確認して、[プリンタの設定(S)...]をクリックします。

ヒント

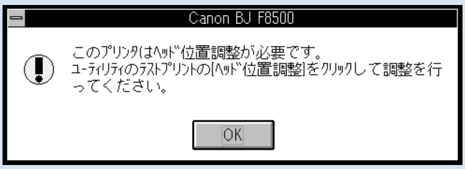
異なる機種名が表示されているときは、[↓]をクリックして、一覧から[Canon BJ F8500]を選択します。

プリンタドライバのメインダイアログボックスが開きます。





このような画面が表示されたら・・・



[OK]をクリックします。ヘッド位置調整を行う場合は、メインダイアログボックスを開き[ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ(U)...]をクリックして、[アイコン]のアイコンをクリックします。

ヘッド位置調整の操作については→スタートガイド

設定画面の構成

メインダイアログボックスでボタンをクリックすると、各ダイアログボックスが開きます。
それぞれのダイアログボックスの設定項目の説明はヘルプを参照してください。

オートパレット詳細(E)... をクリック

ヒント
[オートパレット(M)] のアイコンをダブルクリックして開く方法もあります。

メインダイアログボックスを開く →P.88

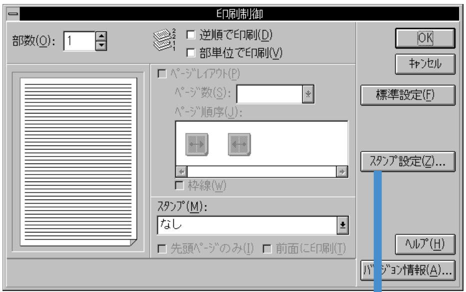


メインダイアログボックス

印刷制御(Z)... をクリック

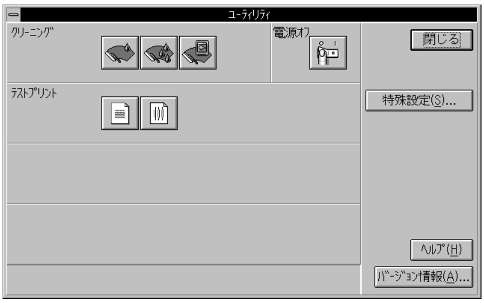
ユーティリティ(U)... をクリック

印刷制御ダイアログボックス



スタンプ設定(Z)... をクリック

ユーティリティダイアログボックス



スタンプ設定ダイアログボックス



オートパレット詳細ダイアログボックス

クオリティシート



[色設定]タブをクリック

色設定シート



[クオリティ]タブを
クリック

設定登録シート



[設定登録]タブをクリック

◆共通するボタンの説明

OK …………設定した内容を有効にして、ダイアログボックスを閉じます。

キャンセル …………設定した内容を無効にして、ダイアログボックスを閉じます。

ヘルプ(H) …………プリンタドライバに関する説明を表示します。

バージョン情報(A)... ……プリンタドライバのバージョンを表示します。

標準設定(F) ……各シートの設定内容を標準に戻します。→P.102

ヘルプの説明を見る

Windows 3.1用のプリンタドライバの操作や、設定項目に関する説明が知りたいときはヘルプを参照してください。

プリンタドライバの各ダイアログボックスには[ヘルプ(H)]があります。
クリックすると、説明を見ることができます。

1 [ヘルプ(H)] **をクリックします。**

ヒント

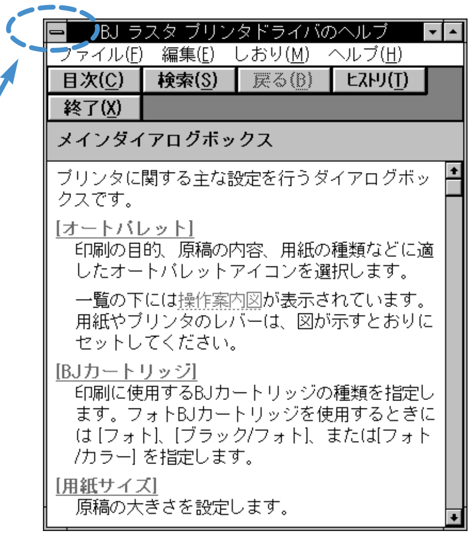
右の例はメインダイアログボックスの説明を見る場合です。



説明の画面が表示されます。

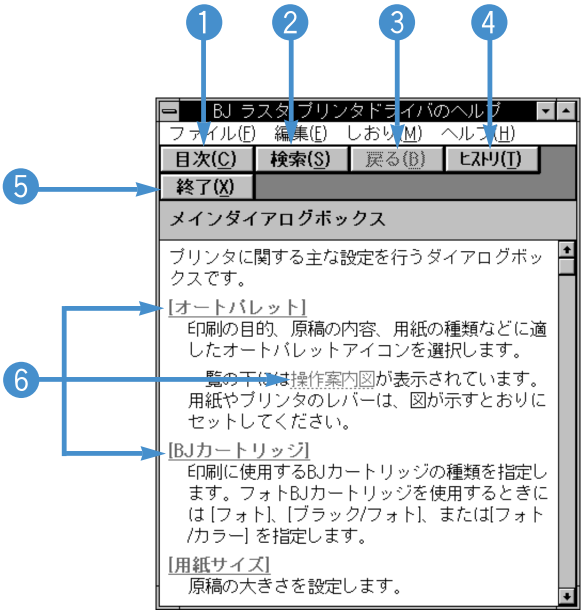
ヒント

説明を読み終わったら、コントロールメニューボックスをダブルクリックします。説明の画面が閉じます。



◆ヘルプウィンドウの機能

ボタンの使いかたと本文中の機能を説明します。



❶ 目次(C)	**ヘルプの目次を表示します。**
❷ 検索(S)	**キーワードを入力して、必要な情報を探すことができます。**
❸ 戻る(B)	**ひとつ前に表示したヘルプに戻ります。**
❹ ヒストリ(T)	**ヘルプを見た順番をさかのぼって表示します。**
❺ 終了(X)	**ヘルプのウィンドウを閉じます。**
❻ **緑色の文字**	**クリックすると関連する説明を見ることができます。** **実線…関連項目のヘルプにジャンプします。** **点線…詳細な説明が表示されます。**

不要になったプリンタドライバを削除する

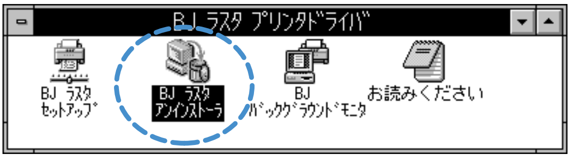
BJラスタアンインストーラを使うと、不要になったプリンタドライバの関連ファイルをまとめて削除できます。新しいプリンタドライバをインストールする前には、この方法で不要になったプリンタドライバを削除しておいてください。

お願い　**BJラスタアンインストーラがないプリンタドライバをお使いになっていた場合は、コントロールパネルの[プリンタ]で削除してください。詳細はWindows 3.1のマニュアルをご覧ください。**

1

[BJラスタプリンタドライバ]グループから 

をダブルクリックします。



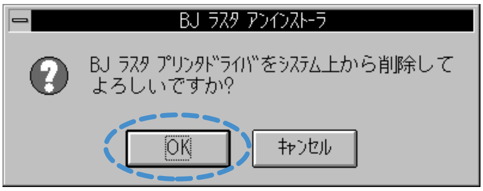
2

[ｼｽﾃﾑからﾄﾞﾗｲﾊﾞを削除する(D)]が選択されていることを確認して、[実行]をクリックします。



3

メッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。



4

終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

◆以上でプリンタドライバは削除されます。





付録：

プリンタドライバの標準設定、
オートパレットの詳細な設定内容、
印刷できる範囲をわかりやすい表にしています。

付録-1　動作環境と標準設定

◆プリンタドライバの動作環境

動作環境	必要な条件
コンピュータ本体	Microsoft® Windows® 98日本語版、Microsoft® Windows® 95日本語版、およびMicrosoft® Windows®3.1日本語版が動作するコンピュータ（DOS/V機および36ピンパラレルインタフェースを持つNEC PC-9800シリーズ*）
基本ソフトウェア	Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、およびMicrosoft Windows 3.1日本語版
ハードディスク	インストール時に必要な容量は、Windows98、Windows95の場合は約19Mbyte、Windows3.1の場合は約5Mbyte（一時的に使用する領域を含む）
CD-ROMドライブ	特になし
インタフェースケーブル	双方向通信が可能なセントロニクスケーブル*
プリンタポート	LPT1*（Windows 95はLPT2等も可）

「*」印はBJステータスモニタを使うときの必須条件

STOP

- 以下の条件ではBJステータスモニタは使用できません。
  双方向通信機能に対応していないPC-9800シリーズの一部（エプソンの互換機を含む）の機種
  ネットワークプリンタとして使用する場合
- Microsoft Windows 98（英語版）、Microsoft Windows 95（英語版）、Microsoft Windows 3.1（英語版）での動作は保証しておりません。

◆プリンタドライバの標準設定

購入時のプリンタドライバの設定を標準設定といいます。Windows 95、Windows 98の場合は[標準に戻す(F)]、Windows 3.1の場合は[標準設定(F)]をクリックするといつでも標準設定に戻すことができます。

項目	標準設定
メインシート	[ｵｰﾄﾊﾟﾚｯﾄ(M)]…文書、[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]…ﾌﾞﾗｯｸ/ｶﾗｰ、[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ印刷(G)]…オフ、[用紙の種類(O)]…普通紙
用紙シート	[用紙ｻｲｽﾞ(Y)]…A4またはLetter*、[等倍印刷(N)]…オン、[拡大/縮小印刷(S)]…オフ、[ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ印刷(T)]…オフ、[ﾊﾞﾅｰ紙(長尺紙)印刷(R)]…オフ、[印刷方向]…縦(P)
印刷制御シート	[ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ印刷(B)]…オン、[部数(O)]… 1部、[逆順で印刷(D)] …オフ（ページ順で印刷)、[部単位で印刷(V)]…オフ（ページ単位で印刷)、[ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ(P)]…オフ、[ｽﾀﾝﾌﾟ(M)]…なし
オートパレットのプロパティ	「文書」の詳細設定→P.97
スタンプ設定のプロパティ 文字シート	[ｽﾀﾝﾌﾟ文字列]…空欄、[囲み(U)]…なし、[TrueTypeﾌｫﾝﾄ名(T)]…MSゴシック、[ｻｲｽﾞ(P)]…72、[ﾎﾞｰﾙﾄﾞ(B)]…オフ、[ｲﾀﾘｯｸ(I)]…オフ
色シート	[ｽﾀﾝﾌﾟ文字列(M)]…空欄、[囲み(U)]…なし、[ﾊﾟﾚｯﾄ(P)]と[現在の色]…上から5段目の右端、[赤(R)]…192、[緑(G)]…192、[青(B)]…192
配置シート	[ｽﾀﾝﾌﾟ文字列(M)]]…空欄、[囲み(U)]…なし、[位置(P)]…中央、[回転角度(N)]…0

*Windowsのコントロールパネルの設定によって変わります。

■ Windows 95の場合

[地域]の設定が[日本語]➡A4
[地域]の設定が[英語]➡Letter

■Windows 3.1の場合

[各国対応]の[国]の設定が[日本]➡A4
[各国対応]の[国]の設定が[ｱﾒﾘｶ][ｶﾅﾀﾞ]など➡Letter

付録-2　オートパレットの詳細な設定内容

メインシートの［オートパレット詳細(E)...］をクリックすると、選択したオートパレットの詳細な設定内容を見ることができます。
標準で用意されているオートパレットの設定内容は下表の通りです。

選択したオートパレットの特長を生かすには、設定に合った用紙、BJカートリッジを使用してください。異なるものを使用する場合は、［用紙の種類(O)］［BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)］の設定を変更します。

オートパレット／設定項目	文書	DTP	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ	写真	ｽｰﾊﾟｰﾌｫﾄ	ﾄﾞﾗﾌﾄ	ﾃﾞｼﾞｶﾒ
[BJｶｰﾄﾘｯｼﾞ(C)]	ブラック／カラー	ブラック／カラー	ブラック／カラー	ブラック／カラー	フォト／カラー	ブラック／カラー	フォト／カラー
[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ印刷(G)]	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）
[用紙の種類(O)]	普通紙	普通紙	高品位専用紙	高品位専用紙	高品位専用紙	普通紙	高品位専用紙
[給紙方法(B)]	上段カセット	上段カセット	上段カセット	上段カセット	上段カセット	上段カセット	上段カセット
[印刷品位(Q)] 印字モード	左から2番目 標準(速度優先)	中央 標準(品位優先)	中央 標準(品位優先)	右から2番目 高品位	中央 標準(品位優先)	左端 高速	中央 標準(品位優先)
[ﾃﾞｨｻﾞﾘﾝｸﾞ(D)]	自動	自動	パターン	誤差拡散	誤差拡散	ﾊﾟﾀｰﾝ(高速)	誤差拡散
[ｲﾒｰｼﾞﾃﾞｰﾀ補正(V)]	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オン（あり）
[ﾌｫﾄﾃﾞｰﾀ補正(P)]	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）	オフ（なし）
[色補正(U)]	オン（あり）	オン（あり）	オン（あり）	オン（あり）	オン（あり）	オフ（なし）	オン（あり）
[ｶﾗｰﾊﾞﾗﾝｽ] 各色	0	0	0	0	0	－	0
[ﾏｯﾁﾝｸﾞ方法(X)]	自動	自動	グラフィックス	写真	写真	－	写真
[ｶﾞﾝﾏ係数(G)]	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	－	1.4
[変換曲線(S)]	ビデオ	ビデオ	ビデオ	ビデオ	ビデオ	－	デジタルカメラ
[濃度(N)]	0	0	0	0	0	0	0

◆設定項目の説明　（各項目の詳細はヘルプも参照してください。）

BJカートリッジ……装着しているBJカートリッジに合わせて設定します。→P.33

グレースケール印刷……カラーで作成した原稿をモノクロで印刷するかどうかを切りかえます。→P.33

用紙の種類……印刷する用紙の種類を設定します。→P.33

給紙方法……印刷する用紙がセットされている給紙口と給紙のしかたを設定します。→P.40

印刷品位……印刷の品質を設定します。スライドバーの位置が右へ行くほど品位は高くなり、左へ行くほど品位よりも高速性が優先されます。→P.40

ディザリング……ハーフトーンの画像の表現のしかたを設定します。「パターン」はグラフなどの表現に、「誤差拡散」は写真のような表現に向いています。「自動」に設定すると、データの種類に合わせてディザリングを自動的に切りかえます。→P.41

イメージデータ補正……イメージデータ補正を行うか行わないかを設定します。→P.41

フォトデータ補正……フォトデータ補正を行うか行わないかを設定します。
画像ごとに補正を行うか、1ページまとめて補正を行うか選択できます。→P.41

色補正……色の補正を行うか行わないかを設定します。補正を行うとカラーバランス、マッチング方法、ガンマ係数、変換曲線の設定が可能になります。→P.42

カラーバランス……シアン（青）、マゼンタ（赤）、イエロー（黄）、ブラック（黒）の濃淡をスライドバーで設定します。→P.42

マッチング方法……色の表現のしかたに関する設定です。写真などの表現に適した「写真」、グラフのような表現に適した「グラフィックス」、これらを自動的に切り替える「自動」があります。→P.42

ガンマ係数……ガンマ補正を行うための数値を設定します。数値によって色のコントラストが変わります。→P.43

変換曲線……印刷時の色の加工方法に関する設定です。「ビデオ」は画面に表示される色に近づける設定です。ほかにスキャナ入力した原稿の色に近づける「スキャナ」、データの色設定に近づける「CG」、デジタルカメラの特性を考慮した色味にする「デジタルカメラ」があります。→P.43

濃度……印刷の濃淡をスライドバーで設定します。→P.43

付録-3 用紙サイズと印刷できる範囲

用紙の上下左右には印刷できない部分がありますので、実際に印刷できる範囲はこれらの余白を除いた部分となります。印刷できる範囲には印刷可能領域と印刷推奨領域があります。

印刷可能領域…**最大限印刷が可能な範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。**

印刷推奨領域…**印刷の品位や用紙送りの精度が保証されている領域です。**

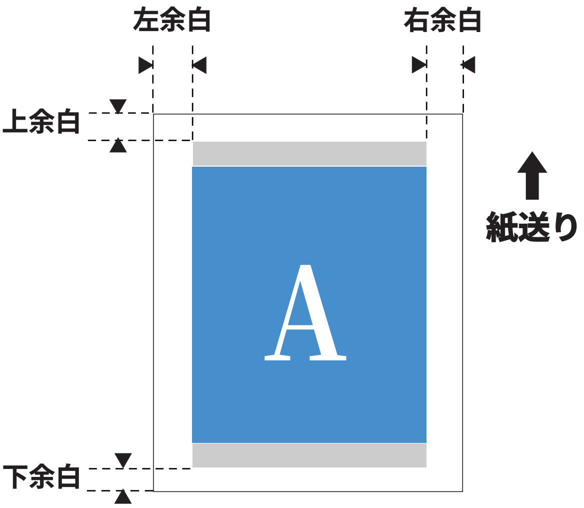
ヒント

- 余白の設定はアプリケーションソフトで行います。
- 原稿を均等に美しく印刷するためには、できるだけ印刷推奨領域に納まるようレイアウトしてください。
- アプリケーションソフトでの換算誤差や用紙のセットのしかたによって、±0.2mm程度ずれることがあります。

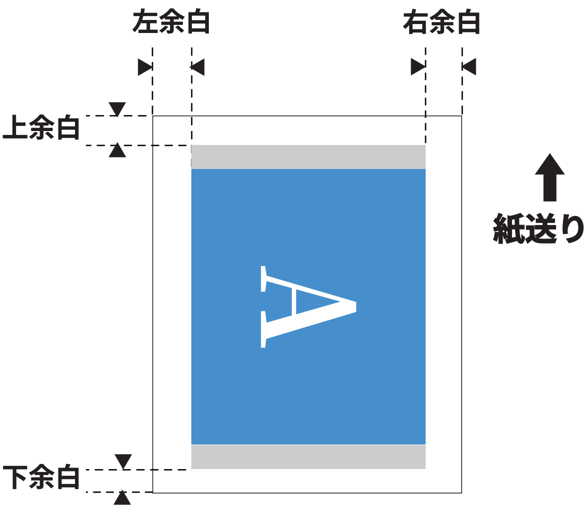
■[印刷方向]の設定によって、上・下余白、左・右余白と呼ぶ位置は次のように変わります。

（灰色）は印刷可能領域を表します。
（青色）は印刷推奨領域を表します。

● [用紙方向]が[縦]のとき



● [用紙方向]が[横]のとき



箇所 / 用紙	印刷可能領域（上段）／印刷推奨領域（下段）					
	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
A5	141.2mm	200.0mm 169.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
A5横	203.2mm	138.0mm 107.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
A4	203.2mm	287.0mm 256.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
A4横	289.56mm	200.0mm 169.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	4.04mm
A3	289.56mm	410.0mm 379.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	4.04mm
B5	175.2mm	247.0mm 216.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
B5横	250.2mm	172.0mm 141.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
B4	250.2mm	354.0mm 323.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
Letter	203.2mm	269.4mm 238.4mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	6.4mm	6.3mm
Letter横	272.6mm	205.9mm 174.9mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
Legal	203.2mm	345.6mm 314.6mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	6.4mm	6.3mm
はがき	93.2mm	138.0mm 107.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
はがき横	141.2mm	90.0mm 59.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
洋形４号	222.2mm	95.0mm 64.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	6.4mm	6.4mm
洋形6号	177.2mm	88.0mm 57.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	6.4mm	6.4mm
Letter+	218.44mm	281.94mm	28.0mm	28.0mm	5.1mm	5.1mm
A4+	212.54mm	299.72mm	28.0mm	28.0mm	5.1mm	5.9mm
A3ノビ	322.0mm	473.0mm 442.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
フォトカード	109.4mm	159.9mm	28.0mm	28.0mm	5.1mm	5.1mm
ユーザ定義 最小サイズ（注1）	103.2mm	90.0mm 59.0mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm
ユーザ定義 最大サイズ（注1）	322.2mm	574.2mm 543.2mm	3.0mm 20.5mm	7.0mm 20.5mm	3.4mm	3.4mm

注1：ユーザ定義サイズの用紙サイズは、最小で幅110.0mm×長さ100.0mm、最大で幅329.0mm×長さ584.2mmの設定ができます。

索　引

Windowsプリンタドライバをご使用のお客様へ

バージョンアップ時のご案内とファイル入手方法

プリンタドライバに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびファイルの入手窓口は次のとおりです。
ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

【製品に関する情報の入手方法】

次の方法で日本語Windows対応プリンタドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を引き出すことができます。

●FAX情報サービス

札幌(011)728 - 0485 秋田(0188)26 - 0441 仙台(022)211 - 5730 東京(03)3455 - 5962 名古屋(052)936 - 0758
大阪(06)444 - 4580 広島(082)240 - 6729 高松(087)826 - 1621 福岡(092)411-9510
お手元のFAX（GIIIモード対応）から電話をし、メッセージに沿って操作をしてください。情報内容については番組目次=情報番号“１”でご確認ください。
＊ プッシュ回線でご利用ください。（ダイヤル回線の場合はトーン切替が必要になります）
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

●パソコン通信：NIFTY SERVEキヤノンステーション

NIFTY SERVEにアクセス後、「GO SCANON2」と入力してください。「インフォメーションサポートコーナー２」の「電子会議」の中の「プリンタBJ/BJCインフォメーション」に記載されています。
またキヤノン・ステーションでは、「メール告知サービス」を行なっております。
「メール告知サービス」とは、キヤノン製品をお持ちのお客様、キヤノン製品にご興味のあるお客様に対して、各種新商品の情報やドライバのアップデート情報を、お客様のご要望に応じてメールにてご提供するサービスです。詳細につきましては、【ゼネラル】インフォメーションの165番に掲載しておりますので、ご参照ください。
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

●インターネット：キヤノン販売ホームページ http://www.canon-sales.co.jp/

プリンタドライバのバージョンアップを含む製品に関する情報を提供しています。
上記のインターネットホームページ「meet the WonderBJ」「ピクセラホームページ」をご覧ください。
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

【最新プリンタドライバの入手方法】

次の方法でキヤノン製プリンタドライバの最新バージョンを入手できます。

① パソコン通信：NIFTY SERVEキヤノンステーションよりダウンロードできます。NIFTY SERVEにアクセス後、「GO SCANON2」と入力して下さい。登録されているプリンタドライバ一覧については「インフォメーション・サポートコーナー2」の「データライブラリ」の中の「【BJ/BJC】ドライバ・ライブラリ」の「1.データ一覧」に記載されています。
　＊ 通信料はお客様のご負担になります。
② インターネット：キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。
　キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。
　（キヤノン販売ホームページ http://www.canon-sales.co.jp/）
　＊ 通信料はお客様のご負担になります。
③ 郵送サービス：プリンタドライバのFDを郵送でお送り致します。

●お申し込み方法 郵便局に備え付けの払込用紙に下記の必要事項をご記入ください。

口座番号：00160-1-51418 口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係
「通信欄」には、必ずプリンタドライバの「品番・名称・FD種別」をご記入ください。
「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送させていただきます。
お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
＊ プリンタドライバの種類/バージョン・手数料などの詳細はキヤノンFAX情報サービス（情報番号99#）でご確認ください。
＊ ドライバの発送に払込後1週間程度かかる場合がありますのでご了承ください。また当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。

（上記の入手方法、電話番号等は、予告なく変更となる場合があります　1998年9月8日現在）

製品取り扱い方法ご相談窓口一覧

● BJプリンタの取り扱い方法及び修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター　全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット　**0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。BJプリンタの該当番号は41です。
（該当番号は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。）

受付時間：	平日	9:00～12:00	13:00～18:00	19:00～21:00
	土・日・祝祭日	10:00～12:00	13:00～17:00	（1月1日～3日を除く）

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えいたします。
尚、携帯電話等をご使用の場合は043-211-9319をご利用ください。

● 消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店及びキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

お問い合せの前に

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、かけまちがいのないよう電話番号はよくお確かめください。

【プリンタの接続環境について】

BJプリンタと接続しているパソコンの機種名：

内蔵メモリ容量：　　　　MB／**ハードディスク容量：**　　　　MB

使用しているOS： Windows□98／□95／□3.1／□NT(Ver.　　)　□OS 8.1　□その他 (　　)

パソコン上で選択しているプリンタドライバの名称：

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン：

接続方法： □直結　□ネットワーク（種類：　　　）□その他(　　　)

接続ケーブル： □USB　□パラレル　　**メーカー名／品名：**

【プリンタ設定について】　（Windowsをご使用の方のみ）

プリンタドライバのバージョンNo.：

パソコン上プリンタ設定のバージョン情報、あるいはドライバFDのreadme fileで確認できます。

ご使用の動作モード： □BJ　□ESC/P　□PC-PR201　□その他(　　　)

【エラー表示】

エラーメッセージ（できるだけ正確に）：

エラー表示の場所： □パソコン　　□プリンタ

1998年9月8日現在

Canon

修理サービスご相談窓口

下記窓口の受付時間は9:00AM～12:00PM、1:00PM～5:30PMです。土、日、祝日は、休ませていただきます。

札幌	(011)728-0635	旭川	(0166)25-6251	帯広	(0155)24-7907
青森	(0177)75-1666	秋田	(0188)34-8281	盛岡	(019)646-8710
山形	(0236)31-4250	仙台	(022)217-3301	郡山	(0249)23-5618
新潟	(025)243-2111	長野	(026)234-2270	前橋	(0272)24-5033
宇都宮	(028)627-7522	つくば	(0298)52-3011	千葉	(043)261-5120
大宮	(048)649-1457	甲府	(0552)26-3155	立川	(0425)24-5236
東京	(03)3455-9600	横浜	(045)312-4078	厚木	(0462)23-8221
沼津	(0559)62-6220	静岡	(054)251-2488	浜松	(053)458-0147
名古屋	(052)939-1819	岡崎	(0564)24-8191	岐阜	(058)266-7811
津	(0592)26-9788	和歌山	(0734)31-3186	富山	(0764)33-4631
金沢	(0762)91-1215	京都	(075)241-0261	大阪	(06)444-5824
神戸	(078)291-0550	岡山	(086)222-8228	高松	(0878)26-1604
徳島	(0886)54-2251	高知	(0888)23-2553	松山	(089)946-2782
広島	(082)240-6706	福山	(0849)25-2421	山口	(0839)73-2165
鳥取	(0857)24-6465	松江	(0852)27-2535	北九州	(093)531-2500
福岡	(092)411-4668	大分	(0975)36-6522	佐賀	(0952)22-9231
長崎	(0958)24-8461	熊本	(096)386-1122	宮崎	(0985)28-4570
鹿児島	(099)258-7401	那覇	(098)867-2104		

上記窓口の名称、所在地、電話番号は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
電話番号のかけまちがいが増えておりますので、番号をよくお確かめの上おかけください。

キヤノン販売株式会社

Canon

BJ F8500

Windows® プリンタドライバガイド

この印刷物は古紙を50%含んだエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QA7-0294-V01 0299SZ0.5 PRINTED IN JAPAN